



FreeSpace® IZA 2120-LZ & IZA 2120-HZ 一体型ゾーンアンプ

FreeSpace® ZA 2120-LZA & ZA 2120-HZA ゾーンアンプ

設置および操作ガイド

この取扱説明書に記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめします。

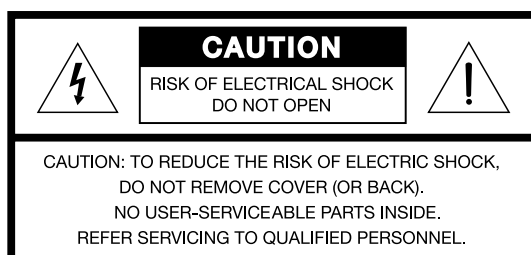
本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設置システムにおける本製品を対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供します。設置を開始する前に、本書をお読みください。

**警告:**

- 全てのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地の建築に関する条例や規則など、適用されるすべての法律に従って製品を設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶など、液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。液体が侵入すると、火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- この製品は屋内の水を使用するエリア(屋内プール、屋内ウォータerpark、浴室、サウナ、スチームサウナ、屋内スケートリンクなど)での設置または使用を意図していません。
- のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

**注意:**

- この製品は、保護アース接続のあるAC電源コンセントに接続する必要があります。注意: 結露の可能性がある場所に本体を設置しないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、システムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。
- ラックのメーカーが推奨する取付金具のみを使用してください。



この記号は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることを示します。




この記号は、このガイドに製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを示します。


注記:

- 製品ラベルは本体底面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、電源インバーターからの電源供給を想定した設計およびテストはされていません。
- この製品は、車両または船舶での使用を想定した設計およびテストは行われていません。

日本:

注: メインプラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意事項に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子または3番目の棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技師に連絡して新しいコンセントに取り替えてください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ず製造元より指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
12.  製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、台以外は使用しないでください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体の侵入や内部への異物の落下、雨や水蒸気との接触、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

 This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

This product meets all EN55103-2 immunity requirements for E2 electromagnetic environment.

Information About Products That Generate Electrical Noise (FCC Compliance Notice for US)

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at one's own expense.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class A specifications.

CAN ICES-3(A)/NMB-3(A)

はじめに

製品の概要	6
FreeSpace® IZA 2120-LZ/IZA 2120-HZ一体型ゾーンアンプ	6
FreeSpace® ZA 2120-LZA/ZA 2120-HZAゾーンアンプ	6
付属のアクセサリ	6

フロントおよびリアパネル

FreeSpace® IZA 2120-LZ	7
IZA 2120-LZフロントパネル	7
IZA 2120-LZリアパネル	8
FreeSpace® IZA 2120-HZ	9
IZA 2120-HZフロントパネル	9
IZA 2120-HZリアパネル	10
FreeSpace® ZA 2120-LZA/HZA	11
ZA 2120-LZA/HZAフロントパネル	11
ZA 2120-LZA/HZAリアパネル	12

設置と操作

設置	13
適切な通気的重要性	13
ラックマウント	13
ラックマウント金具の取り外し	13
平らな面への設置	14
アンプへの脚の取り付け	14
ユニットを重ねて設置する場合	14
音量のリモートコントロール	15
ControlSpace® Engineered Sound Processorとアンプを接続する	15
ページング入力の接続	15
リモコン接続	16
ゾーンアンプへのリモコンの接続	18
ControlCenterゾーンコントローラーの接続	20
CC-1のFreeSpace® Amplifierへの接続	20
CC-2のFreeSpace® Amplifierへの接続	22
スピーカーの使用	23
ZAアンプによるIZAシステムの拡張	24
拡張の概要	24
ZA 2120-LZA/HZAアンプへのIZA 2120-LZ/HZアンプの接続	24
ライン入力の接続	24
複数のゾーンアンプへのIZA 2120-LZ/HZアンプの接続	25

仕様

AC電流引き込みおよび放熱に関する情報	26
保証	27
技術仕様	28
IZA 2120-LZ仕様	28
IZA 2120-HZ仕様	29
ZA 2120-LZA仕様	30
ZA 2120-HZA仕様	31
故障かな?と思ったら	32

ブロック図

IZA 2120-LZ一体型ゾーンアンプ.....	33
IZA 2120-HZ一体型ゾーンアンプ.....	34
ZA 2120-LZAゾーンアンプ.....	35
ZA 2120-HZAゾーンアンプ.....	36

追加資料

連絡先情報.....	37
輸入者情報.....	37

製品概要

このガイドは、FreeSpace® IZA 2120-LZ/IZA 2120-HZ一体型ゾーンアンプおよびZA 2120-LZA/ZA 2120-HZAゾーンアンプの設置および操作に関する情報を提供します。

FreeSpace® IZA 2120-LZ/IZA 2120-HZ一体型ゾーンアンプ

FreeSpace® IZA 2120-LZ/IZA 2120-HZ一体型ゾーンアンプは、小売店、レストランやバー、ホスピタリティ施設、会議室、学校、補助的なゾーンなどの幅広い商業用途向けに、信号処理、ルーティング、ページング、ゾーニングの各機能を提供します。

一体型ゾーンアンプは、さまざまな入力（マイク、ライン、ページングシステム）を接続でき、入力ゲインおよび出力レベルの調節が可能で、複数の動作モードを備えています。Bose® FreeSpace FS3/HPF、DS 16、DS 40、DS 100、FS3B、およびRoomMatch® Utility RMU105スピーカー用の内蔵EQプリセットを選択して、スピーカーの性能を最大限に引き出せます。

FreeSpace® ZA 2120-LZA/ZA 2120-HZAゾーンアンプ

FreeSpace ZA 2120-LZA/ZA 2120-HZAゾーンアンプを使用すると、システムを容易に拡張できます。IZA一体型ゾーンアンプのAUX出力を、ZAゾーンアンプの入力に接続するだけです。2つのアンプは、1つのシステムとして同時に機能し、同じ音楽、ページングソース、マスターボリュームコントロールおよびオプションのスピーカーイコライザを共有します。

ZAゾーンアンプは、Bose FreeSpace® 2120-LZ、IZA 2120-HZ、IZA 250-LZおよびIZA 190-HZ一体型ゾーンアンプやBose ControlSpace® engineered sound processorなどのフロントエンドシグナルプロセッシングを利用し、サウンドシステムを拡張するように設計されています。AmpLinkに対応しており、最大8chのデジタル音声入力をCAT 5シールドケーブルでBose DSPからアンプまで送信できます。FreeSpace ZA 2120-LZA/ZA 2120-HZAゾーンアンプは、スタンドアロンのアンプとしても使用でき、バランスまたはアンバランスのラインレベルソースを接続できます。

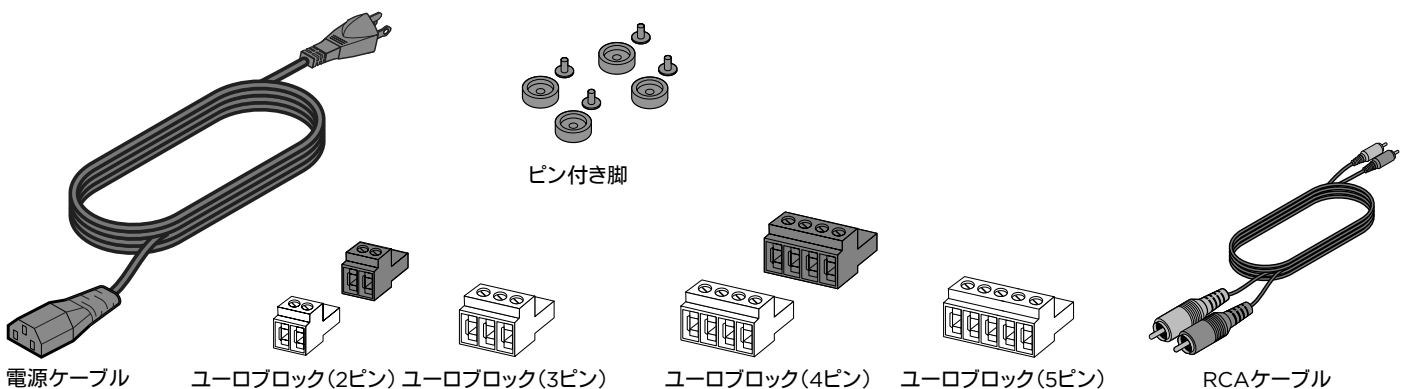
付属品

FreeSpace®アンプの各カートンには、1台のアンプと、次の表に示す付属品が含まれています。

	IZA 2120-LZ	IZA 2120-HZ	ZA 2120-LZA	ZA 2120-HZA
ロックピン付き脚	4	4	4	4
ユーロブロック(5ピン)	2	2	1	1
ユーロブロック(4ピン)	黒1、緑1	黒2、緑1		
ユーロブロック(2ピン)	黒1、緑2	黒1、緑2	黒1、緑2	黒1、緑2
RCAケーブル			1	1
電源ケーブル*	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1

*付属の電源コードは購入された国によって異なります。

図1.FreeSpaceアンプカートンの内容



FreeSpace® IZA 2120-LZ

4入力のIZA 2120-LZミキサーアンプは、ローインピーダンスのステレオおよびモノラル用途に最適化されています。FreeSpace DS 16、DS 40、DS 100、さらにRoomMatch® Utility RMU105用のスピーカーEQをサポートしています。

IZA 2120-LZフロントパネル

図2.FreeSpace IZA 2120-LZアンプのフロントパネル

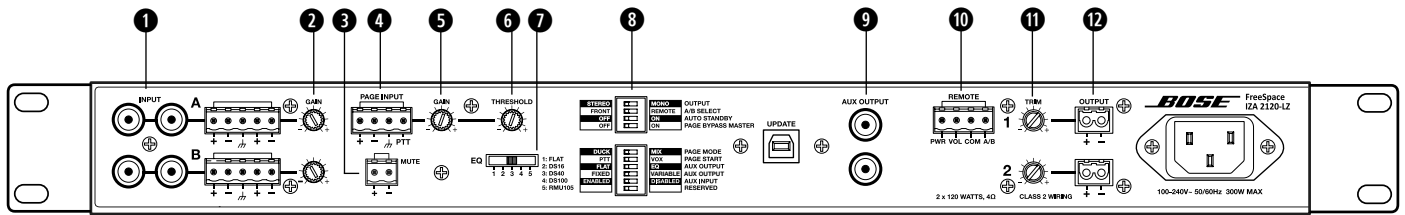


- ① **電源スイッチ** - AC電源のオン/オフ
- ② **POWER LED** - 青色の点灯は、ユニットがオンであることを示します。青色の点滅は、ユニットがスタンバイモードであることを示します。
- ③ **INPUT SIGNAL LED** - -37~11 dBuの範囲でLEDは緑色に、11 dBuを超えると赤色になります。マスターレベルは5の位置に設定されています。
- ④ **OUTPUTリミットLED** - -46~-2 dBFSの範囲でLEDは緑色に、-2 dBFS(約80 W/チャンネル)を超えると赤色になります。各出力について、120ワットが0 dBFSです。
- ⑤ **AUX INPUT** - 3.5 mm (1/8インチ)ステレオラインレベル入力コネクタ。ケーブルを差し込むとこのコネクタが優先され、INPUT AとINPUT Bがミュートされます。この場合でもページングシステムは、PAGE INPUTから入力可能です。AUX INPUTにゲイン調節はありません。したがって、ゲイン調節はすべて外部ソース機器側で行う必要があります。
- ⑥ **INPUT A/Bスイッチ** - リアのライン入力チャンネルAまたはBを選択できます。
- ⑦ **TREBLE/BASSコントロール** - 両方の出力の音質を調整できます。これらは、1次のシェルビングフィルターで、7 kHz以上 (TREBLE) および100 Hz以下 (BASS) で±6 dBの調節が可能です。これらのフィルタは、6 dB/octaveのスロープを持ちます。
- ⑧ **MASTER LEVELコントロール** - スピーカーとAUX OUTPUTの両方のシステム全体の音量をコントロールします (AUX OUTPUT DIPスイッチがVARIABLEに設定されている場合)。AUX OUTPUT DIPスイッチがFIXEDに設定されている場合、AUX OUTPUTは最大レベルに設定されます。

注: REMOTEボリューム接続を使用している場合、フロントパネルのMASTER LEVELコントロールは無効になります。詳細は、“Remote Control Connections” on page 16を参照してください。

IZA 2120-LZリアパネル

図3.FreeSpace IZA 2120-LZアンプのリアパネル



- ❶ **INPUT A/B** - バランスおよびアンバランスのラインレベル入力コネクター。
- ❷ **INPUT GAIN** - INPUT A/Bそれぞれについて、-30~0 dBの調節が可能です。
- ❸ **MUTE** - トリガー(ショート)によりすべての出力(AUX OUTPUTを含む)をミュートするコンタクトクローザー接続です。
- ❹ **PAGE INPUT** - ユーロブロックのマイク/ライン入力。ボイスアクティベーション(VOX)付きダイナミックマイク、またはプッシュトゥートーク(PTT)マイクで使用するトリガーコンタクトクローザーをサポートします。
- ❺ **PAGE INPUT GAIN** - PAGE INPUT信号の0~+50 dBのゲインコントロールが可能です。
- ❻ **PAGE INPUT THRESHOLD** - 他の入力の抑制を開始するVOX PAGE INPUT信号のレベルを調節します。10 dBの調整範囲があり、ページングトリガーレベルをノイズフロアから引き上げて、誤ったトリガーを防ぐことができます。最小の設定では、-70 dBu信号でVOXページングがトリガーされます。最大の設定では、-60 dBu信号でVOXページングがトリガーされます。PTTページングモードでは、この調整は適用されません。
- ❼ **EQ** - ボーススピーカー用のEQプリセットが用意されています。Flat、DS 16、DS 40、DS 100、RMU105から選択できます。ボース製以外のスピーカーを使用する場合、またはEQが不要な場合はFlat設定を使用します。
- ❽ **DIPスイッチ** - アンプを設定するための一連のスイッチです。すべてのスイッチは、左側がデフォルトの設定です。
 - **OUTPUT** - 出力をSTEREO(ステレオ)またはMONO(モノラル)モードに設定します。
 - **A/B SELECT** - A/B入力をフロントパネルのINPUT A/INPUT Bスイッチで選択するか(FRONT)、リアパネルのリモコン入力で選択するか(REMOTE)を決定します。
 - **AUTO STANDBY** - 有効の場合(ON)、信号が入力されない状態が20分継続すると、アンプはスタンバイモードに入ります。スタンバイモードで音声信号が検出されると、アンプは自動的にオンになり、0.7秒以内に音声を増幅します。OFFの位置では、この機能が無効化されます。
 - **PAGE BYPASS MASTER** - ページングの音量をフロントパネルのMASTER LEVEL設定に連動させるか(OFF)、最大音量で出力するか(ON)を設定します。どちらのモードでも、PAGE INPUT GAIN調節を使用できます。出力音量が小さくてページングが聴こえない場合、この機能を使用します。
 - **PAGE MODE** - 選択されている入力ソースとページングをミックス(MIX)するか、ページングがアクティブな場合に入力ソースをダッキング(DUCK)するかを設定します。
 - **PAGE START** - ページングがプッシュトゥートーク動作でアクティブ化されるか(PTT)、音声信号でアクティブ化されるか(VOX)を決定します。
 - **AUX OUTPUT (FLAT/EQ)** - AUX出力にEQの調節を適用しない(FLAT)、またはEQスライドスイッチにより決定されたEQプリセットを適用するか(EQ)を決定します。
 - **AUX OUTPUT (FIXED/VARIABLE)** - AUX出力のレベルをフロントパネルのMASTER LEVELコントロール設定に連動させるか(VARIABLE)、最大出力レベルにするか(FIXED)を設定します。
 - **AUX INPUT** - AUX入力を有効にするか(ENABLED)、無効にするか(DISABLED)を決定します。有効にした場合、AUX入力にケーブルを差し込むとINPUT AおよびBがミュートされます。
- ❾ **AUX OUTPUT** - ZAゾーンアンプとの使用、または追加のオーディオ装置への信号のルーティングのための、可変または固定のアンバランスラインレベル出力信号です。
- ❿ **REMOTE** - オプションのボリュームコントローラー「DXA VC-AB」または「DXA VC」用の入力コネクターです。
- ⓫ **OUTPUT 1/OUTPUT 2 TRIM** - 個別のスピーカー出力に対して、マスターレベル相対で最大40 dBのアッテネーションが可能です。
- ⓬ **OUTPUT** - スピーカー接続用の2つの2ピンユーロブロックコネクターです。出力はブリッジできません。

FreeSpace® IZA 2120-HZ

4入力のIZA 2120-HZミキサーアンプは、デュアルゾーンのハイインピーダンス用途に最適化されています。各ゾーンに対して、独立してEQ、低域/高域レベル、および音量(2つのリモコンによるA/Bソース選択を使用)の調節が可能です。

このミキサーアンプは、FreeSpace FS3/HPF、DS 16、DS 40、DS 100、FS3Bの各スピーカーに対応したEQをサポートしています。各出力で独立したEQが提供されるため、このアンプは、1つのチャンネルでEQを使用してDSスピーカーをドライブし、もう1つのチャンネルでEQを使用してFS3Bをドライブして、バイアンプ構成にすることができます。その他にも必要に応じてさまざまな組み合わせが可能です。

IZA 2120-HZフロントパネル

図4.FreeSpace IZA 2120-HZアンプのフロントパネル

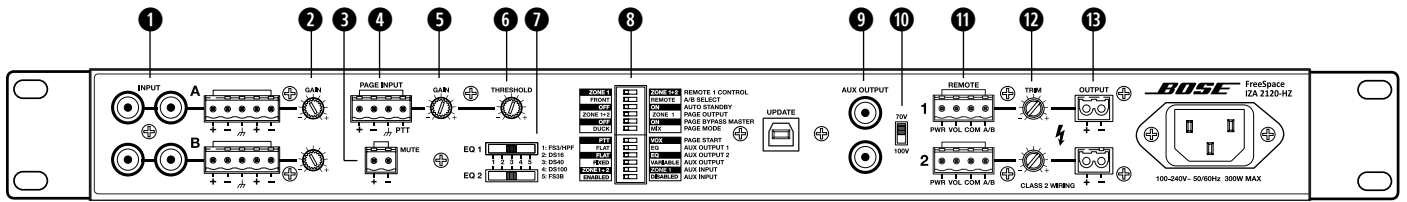


- ① **電源スイッチ** - AC電源のオン/オフ
- ② **POWER LED** - 青色の点灯は、ユニットがオンであることを示します。青色の点滅は、ユニットがスタンバイモードであることを示します。
- ③ **INPUT SIGNAL LED** - $-37 \sim 11$ dBuの範囲でLEDは緑色に、 11 dBuを超えると赤色になります。マスターレベルは5の位置に設定されています。
- ④ **OUTPUTリミットLED** - $-46 \sim -2$ dBFSの範囲でLEDは緑色に、 -2 dBFS(約80 W/チャンネル)を超えると赤色になります。各出力について、120ワットが0 dBFSです。
- ⑤ **AUX INPUT** - 3.5 mm(1/8インチ)ステレオラインレベル入力コネクタ。ケーブルを差し込むとこのコネクタが優先され、INPUT AとINPUT Bがミュートされます。この場合でもページングシステムは、PAGE INPUTから入力可能です。AUX INPUTはMONOにミックスされます。AUX INPUTにゲイン調節はありません。したがって、ゲイン調節はすべて外部ソース機器側で行う必要があります。
- ⑥ **INPUT A/Bスイッチ** - リアパネルのINPUT AまたはINPUT Bを選択します(リアパネルのA/B SELECT DIPスイッチがFRONTに設定されている場合)。
- ⑦ **TREBLE/BASSコントロール** - 両方の出力の音質を調整できます。これらは、1次のシェルビングフィルターで、7 kHz以上(TREBLE)および100 Hz以下(BASS)で ± 6 dBの調節が可能です。これらのフィルタは、6 dB/octaveのスロープを持ちます。
- ⑧ **MASTER LEVELコントロール** - スピーカーとAUX OUTPUTの両方のシステム全体の音量をコントロールします(AUX OUTPUT DIPスイッチがVARIABLEに設定されている場合)。AUX OUTPUT DIPスイッチがFIXEDに設定されている場合、AUX OUTPUTは最大レベルに設定されます。

注: REMOTEボリューム接続を使用している場合、フロントパネルのMASTER LEVELコントロールは無効になります。詳細は、“Remote Control Connections” on page 16を参照してください。

IZA 2120-HZリアパネル

図5.FreeSpace IZA 2120-HZLZアンプのリアパネル

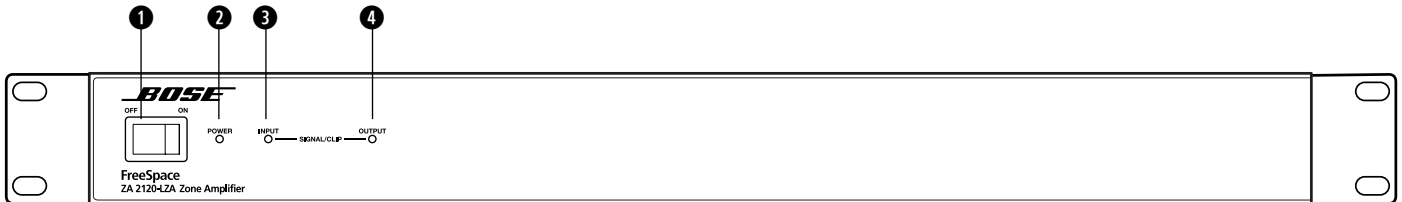


- ❶ **INPUT A/B** - バランスおよびアンバランスのラインレベル入力コネクタ。各入力はMONOにミックスされます。
- ❷ **INPUT GAIN** - INPUT A/Bそれぞれについて、-30~0 dBの調節が可能です。
- ❸ **MUTE** - トリガー(ショート)によりすべての出力(AUX OUTPUTを含む)をミュートするコンタクトクローザー接続です。
- ❹ **PAGE INPUT** - ユーロブロックのマイク/ライン入力。ボイスアクティベーション(VOX)付きダイナミックマイク、またはプッシュトゥートーク(PTT)マイクで使用するトリガーコンタクトクローザーをサポートします。
- ❺ **PAGE INPUT GAIN** - PAGE INPUT信号の0~+50 dBのゲインコントロールが可能です。
- ❻ **PAGE INPUT THRESHOLD** - 他の入力の抑制を開始するVOX PAGE INPUT信号のレベルを調節します。10 dBの調整範囲があり、ページングトリガーレベルをノイズフロアから引き上げて、誤ったトリガーを防ぐことができます。最小の設定では、-70 dBu信号でVOXページングがトリガーされます。最大の設定では、-60 dBu信号でVOXページングがトリガーされます。PTTページングモードでは、この調整は適用されません。
- ❼ **EQ** - ボーススピーカー用のEQプリセットが用意されています。FS3/HPF、DS 16、DS 40、DS 100、FS3Bから選択できます。FS3/HPFはフラット設定です。ボース製以外のスピーカーを使用する場合、またはEQが不要な場合はこの設定を使用します。HPFは55 Hzに設定されています。
- ❽ **DIPスイッチ** - アンプを設定するための一連のスイッチです。すべてのスイッチは、左側がデフォルトの設定です。
 - **REMOTE 1 CONTROL** - REMOTE 1入力が両方の出力(またはゾーン)を同時にコントロールするか(ZONE 1+2)、各REMOTE入力でそれぞれの出力をコントロールするか(ZONE 1)を設定します。各リモコンには、独立したA/B選択機能があります。使用するリモコンが1台のみの場合は、このスイッチをZONE 1+2に設定する必要があります。
 - **A/B SELECT** - A/B入力をフロントパネルのINPUT A/INPUT Bスイッチで選択するか(FRONT)、リアパネルのリモコン入力で選択するか(REMOTE)を決定します。
 - **AUTO STANDBY** - 有効の場合(ON)、信号が入力されない状態が20分継続すると、アンプはスタンバイモードに入ります。スタンバイモードで音声信号が検出されると、アンプは自動的にオンになり、0.7秒以内に音声を増幅します。OFFの位置では、この機能が無効化されます。
 - **PAGE OUTPUT** - ページングをZONE 1のみで行うのか、両方のゾーン(ZONE 1+2)で行うのかを設定できます。
 - **PAGE BYPASS MASTER** - ページングの音量をフロントパネルのMASTER LEVEL設定に連動させるか(OFF)、最大音量で出力するか(ON)を設定します。どちらのモードでも、PAGE INPUT GAIN調節を使用できます。出力音量が小さくてページングが聴こえない場合、この機能を使用します。
 - **PAGE MODE** - 選択されている入力ソースとページングをミックス(MIX)するか、ページングがアクティブな場合に入力ソースをダッキング(DUCK)するかを設定します。
 - **PAGE START** - ページングがプッシュトゥートーク動作でアクティブ化されるか(PTT)、音声信号でアクティブ化されるか(VOX)を決定します。
 - **AUX OUTPUT 1(白)** - AUX出力1にEQ調節を適用しない(FLAT)、またはEQ 1スライドスイッチの位置で決定されるEQプリセットを適用するか(EQ)を決定します。
 - **AUX OUTPUT 2(赤)** - AUX出力2にEQ調節を適用しない(FLAT)、またはEQ 2スライドスイッチの位置で決定されるEQプリセットを適用するか(EQ)を決定します。
 - **AUX OUTPUT** - AUX出力のレベルをフロントパネルのMASTER LEVELコントロール設定に連動させるか(VARIABLE)、最大出力レベルにするか(FIXED)を設定します。
 - **AUX INPUT(ZONE 1+2/ZONE 1)** - AUX入力ソースを、ゾーン1のみに出力するか、両方のゾーンに出力するかを設定します。
 - **AUX INPUT(ENABLED/DISABLED)** - AUX入力を有効化するか(ENABLED)、無効化にするか(DISABLED)を設定します。有効にした場合、AUX入力にケーブルを差し込むとINPUT AおよびBがミュートされます。
- ❾ **AUX OUTPUT** - ZAゾーンアンプとの使用、または追加のオーディオ装置への信号のルーティングのための、可変または固定のアンバランスラインレベル出力信号です。
- ❿ **70 V/100 V** - 出力を70 Vまたは100 Vに設定します。
- ⓫ **REMOTE** - オプションのボリュームコントローラー「DXA VC-AB」または「DXA VC」用の入力コネクタです。
- ⓬ **OUTPUT 1/OUTPUT 2 TRIM** - 個別のスピーカー出力に対して、マスターレベル相対で最大40 dBのアッテネーションが可能です。
- ⓭ **OUTPUT** - スピーカー接続用の2つの2ピンユーロブロックコネクタです。出力はブリッジできません。

FreeSpace® ZA 2120-LZA/HZA

ZA 2120-LZA/HZAフロントパネル

図6.FreeSpace ZA 2120-LZA/HZAアンプのフロントパネル



- ❶ 電源スイッチ - AC電源のオン/オフ
- ❷ **POWER LED** - 青色の点灯は、ユニットがオンであることを示します。青色の点滅は、ユニットがスタンバイモードであることを示します。
- ❸ **INPUT SIGNAL LED** - -37～11 dBuの範囲でLEDは緑色に、11 dBuを超えると赤色になります。
- ❹ **OUTPUTリミットLED** - -46～-2 dBFS(約80 W/チャンネル)の範囲でLEDは緑色になります。各出力について、120ワットが0 dBFSです。

ZA 2120-LZA/HZAリアパネル

図7.FreeSpace ZA 2120-HZAアンプのリアパネル

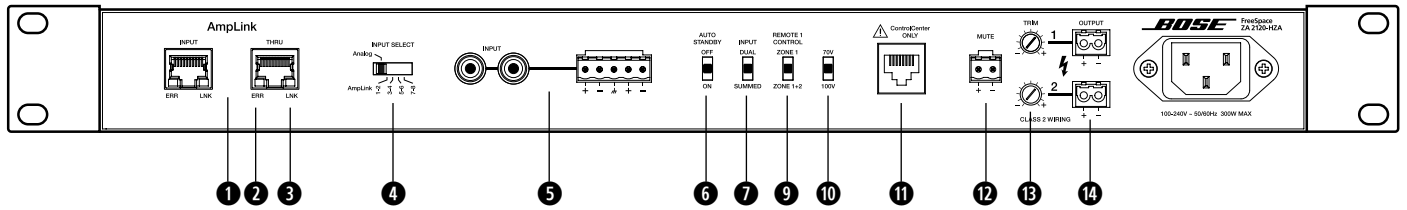
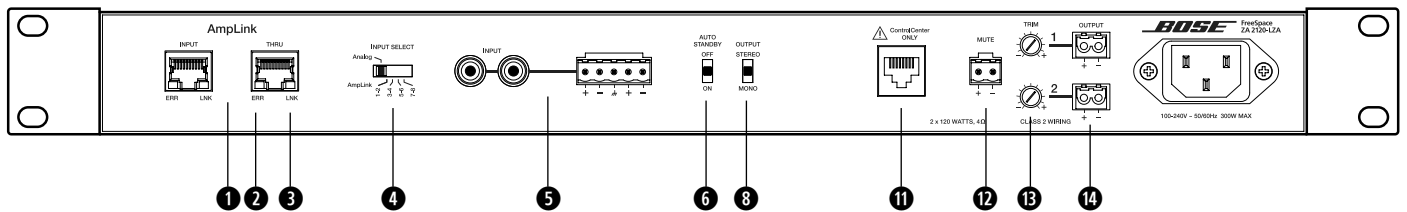


図8.FreeSpace ZA 2120-LZAアンプのリアパネル



❶ **AmpLink** - Bose® AmpLink搭載製品から最初の8chのデジタルオーディオを受信するRJ-45コネクター入力。このアンプは、8chのすべてのデジタル音声チャンネルを最大10 m離れた他のAmpLink製品にデイジーチェーン接続するためのスルー出力も搭載しています。

⚠ **注意:** AmpLinkが正しく動作するには、EIA/TIA 568B準拠のCAT 5シールドストレートケーブル(または同等のケーブル)が必要です。AmpLinkのオーディオに影響するため、非シールドケーブルはサポートされません。RJ-45ポートをEthernetベースのネットワークに接続しないでください。

❷ **AmpLink ERR LED** - 黄色の点灯は、ミュートコネクターにより音声がミュートされていることを示します。黄色の点滅はエラーを示し、音声もミュートされます。

❸ **AmpLink LNK LED** - 緑の点灯は通常の動作を示します。

❹ **INPUT SELECT** - スイッチは、アナログを使用するか、AmpLink音声入力を使用するかを選択を切り替えます。デフォルトの状態はアナログです。アンプの電源がオフのときはスイッチのみ設定します。

❺ **ANALOG INPUT** - バランスおよびアンバランスのラインレベル入力コネクター。

❻ **AUTO STANDBY** - 有効の場合(ON)、信号が入力されない状態が20分継続すると、アンプはスタンバイモードに入ります。スタンバイモードで音声信号が検出されると、アンプは自動的にオンになり、0.7秒以内に音声を増幅します。OFFの位置では、この機能が無効化されます。

❼ **INPUT** - 入力をデュアルモノ入力にするか(DUAL)、1つのモノ入りにミックス(SUMMED)するかを設定します。

❽ **OUTPUT** - 出力をステレオ(STEREO)またはモノ(MONO)にできます。

❾ **REMOTE 1 CONTROL** - REMOTE 1入力両方の出力(またはゾーン)を同時にコントロールするか(ZONE 1+2)、各REMOTE入力でそれぞれの出力をコントロールするか(ZONE 1)を設定します。使用するリモコンが1台のみの場合は、このスイッチをZONE 1+2に設定する必要があります。

❿ **70 V/100 V** - 出力を70 Vまたは100 Vに設定します。

⓫ **CONTROL CENTER** - CC-1 ControlCenterゾーンコントローラー用、または2台のグループ化されていないCC-1をZA 2120-HZAに接続する場合のCV41用RJ-45入力コネクター。2台のCC-1がグループ化されている場合、CV41は必要ありません。

⚠ **注意:** RJ-45ポートをEthernetベースのネットワークに接続しないでください。

⓬ **MUTE** - トリガー(ショート)によりすべての出力をミュートするコンタクトクローザー接続です。

⓭ **OUTPUT TRIM** - 各スピーカー出力を最大40 dBアッテネートできます。

⓮ **OUTPUT** - スピーカー接続用の2つの2ピンユーロブロックコネクターです。出力はブリッジできません。

設置

適切な通気の重要性

アンプの設置に際しては、次の点に注意してください。

- ・ 空気が本体正面の左から右に自由に流れる適切な通気を確保してください。両側面に通気孔があります。
- ・ ラック内の温度を管理して、アンプの周囲温度が40° Cを超えないようにしてください。
- ・ アンプの通気孔を覆ったり、塞いだりしないでください。
- ・ キャビネットなど、閉じられたスペースにアンプを設置しないでください。
- ・ 本体ケースを熱から保護して、暖房の吹き出し口やラジエーターなどの熱源に直接あたらないようにしてください。



注意: 本体の温度が最大動作温度の40° Cを超えないようにしてください。閉じられたラックでは、室温より温度が高くなることに注意してください。アンプが過熱した場合、温度保護モードに入り、すべての出力がミュートされます。

ラックマウント

FreeSpace®アンプは標準の19インチ(48 cm)ラック機器に適合する設計で、1ラックユニット(RU)を占有し、フロントラックレールから12.2インチ(30.9 cm)の取り付け深さが必要です。ワッシャー付きの4つの留め具(付属していない)を使用して、アンプのフロントパネルのラックマウント金具をラックレールに取り付けます。

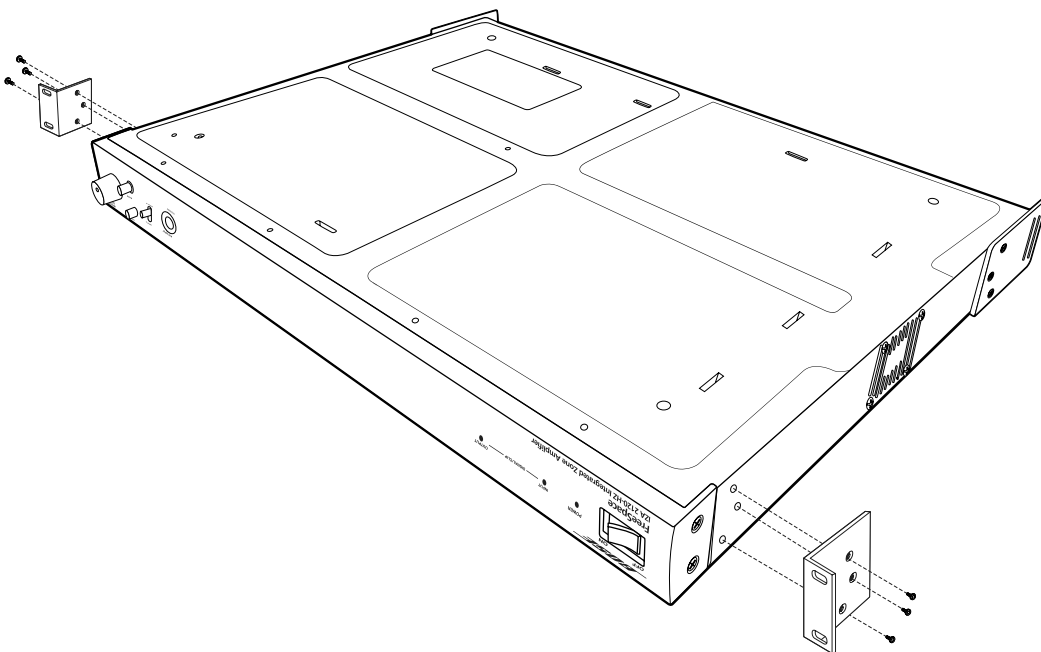


注意: ラックのメーカーが推奨する取付金具のみを使用してください。

ラックマウント金具の取り外し

ラックマウント金具は、3本のネジを外すことで取り外すことができます。

図9.ラックマウント金具の取り外し



平らな面への設置

アンプは、テーブル、カウンター、棚など、平らで安定した面に設置できます。ラックマウント金具は取り外すことができます。プラスチック製の脚(アンプに付属)を取り付けると、設置面を保護し、本体ケースの横滑りを防げます。

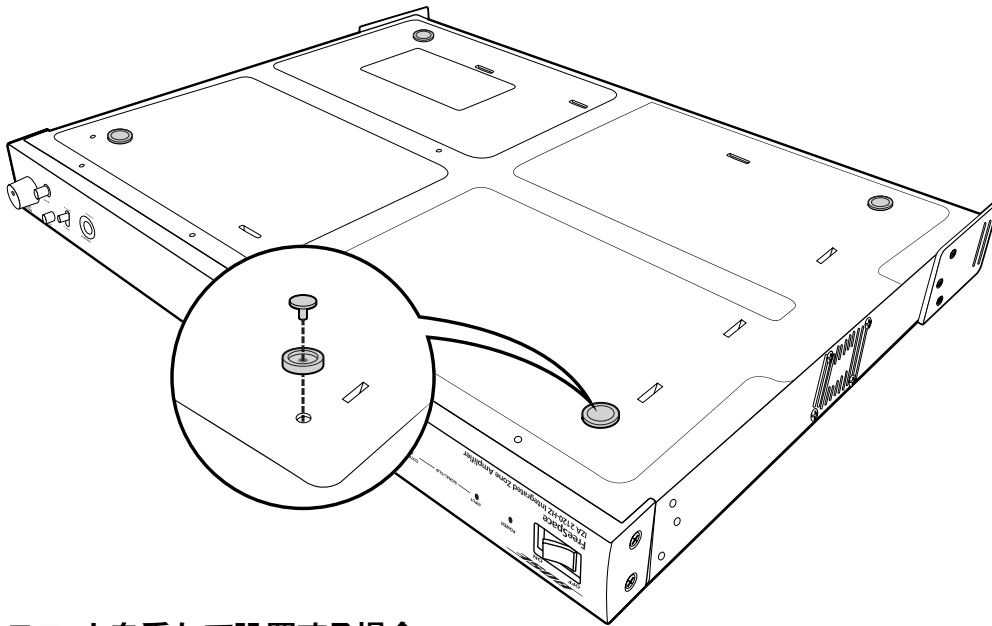
注: アンプをオフィス、会議室、または教室に設置する場合は、アンプの内部冷却ファンの可聴音を最小限に抑えるように注意して設置してください。ファンの吸気口(左側)を着席エリアの方に向けないようにして、アンプを耳より下の高さで隅に配置することをお勧めします。

アンプへの脚の取り付け

付属の脚は、2つのパーツ(脚本体とピン)で構成されています。

1. アンプを上下逆さにして、水平で凹凸のない面に置きます。本体ケース上部に傷がつかないように、保護できるものを下に敷いてください。
2. 本体ケース底面の4つの穴に4つの脚をはめます。
3. 脚の穴にピンを差し込みます。
4. 脚が固定されるまでピンを押し込みます。この手順を4個の脚で繰り返します。

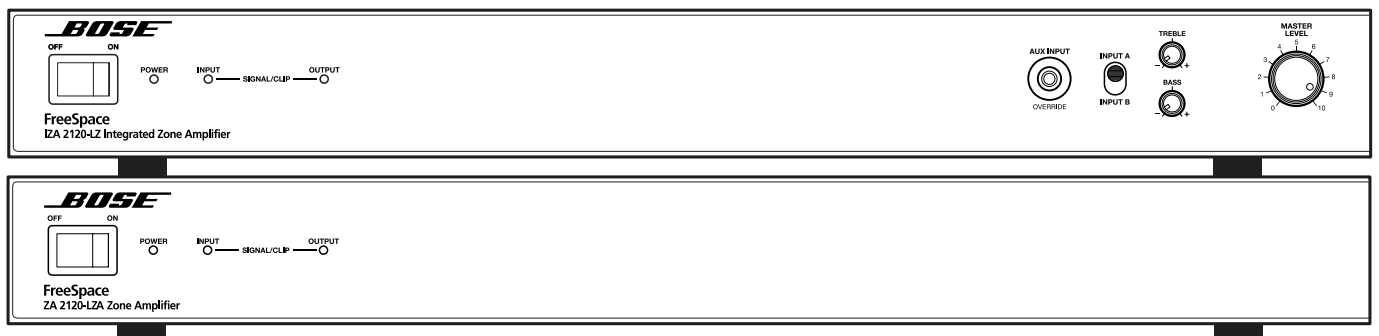
図10.アンプの底面への脚の取り付け



ユニットを重ねて設置する場合

テーブル、カウンター、または棚の利用スペースが限られている場合、アンプを別のアンプの上に積み重ねることができます。

図11.2台のFreeSpaceアンプを重ねて設置する

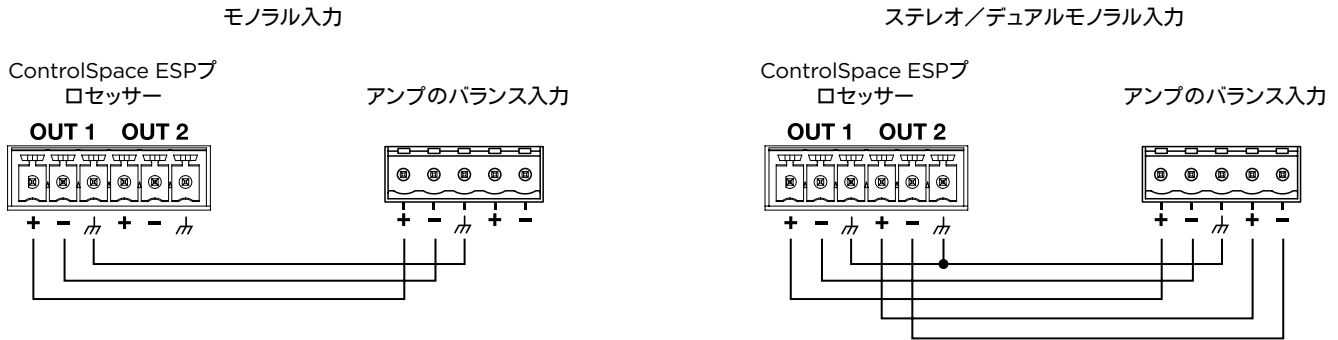


音量のリモートコントロール

ControlSpace® Engineered Sound Processorとアンプを接続する

IZA 2120-LZ/HZおよびZA 2120-LZA/HZAのバランス入力を使用して、ControlSpace engineered sound processorのバランス出力と簡単に接続できます。

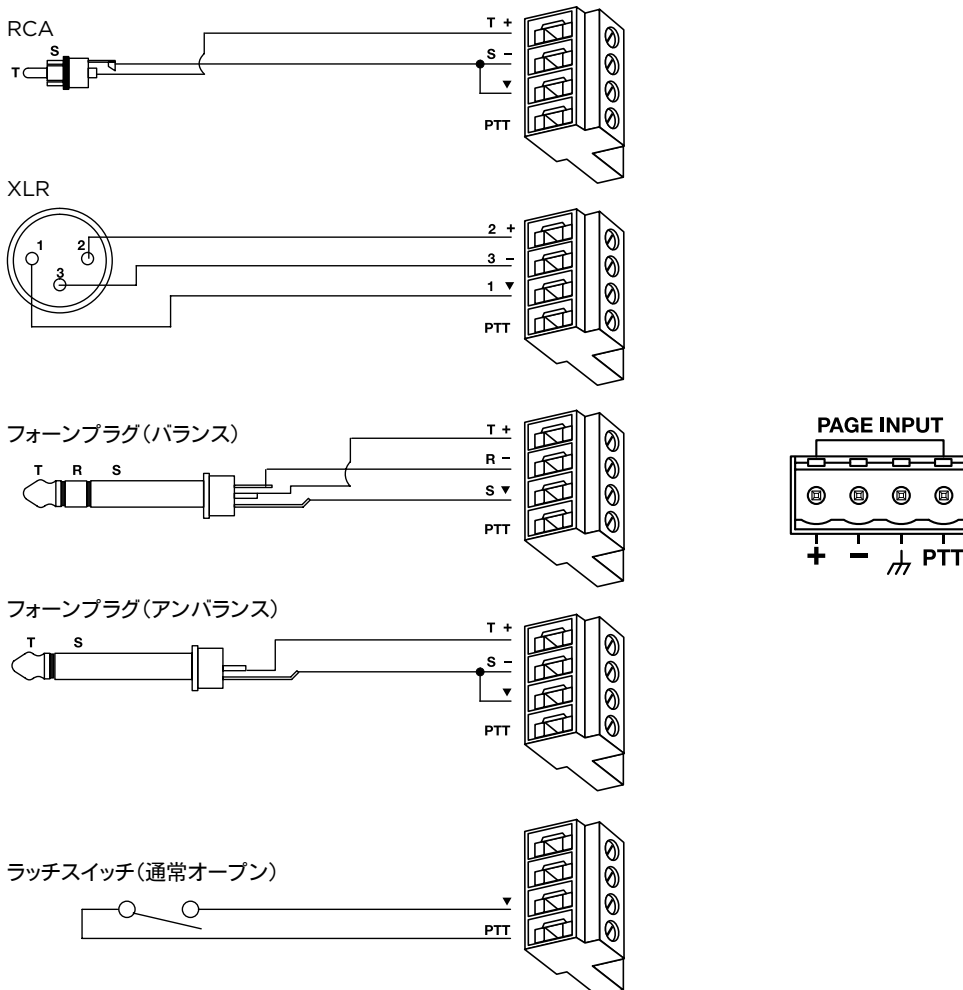
図12.ControlSpace ESPへのFreeSpaceアンプの接続



ページング入力の接続

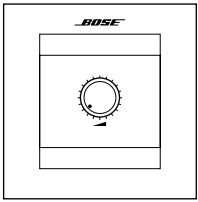
PAGE INPUTは、トリガーコンタクトクローザー付きのマイク/ライン入力です。この入力信号は、トリガーが検出されるとすべての出力(AUX OUTを含む)に送られます。これは、プッシュアウトトークのページングマイクと電話ページングシステム用に設計されています。VOXモードでは、ダイナミックマイクもサポートされます。入力の配線方法については、下の図を参照してください。付属の4ピンユーロブロックを使用します。

図13.ページング入力の配線接続

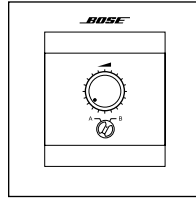


リモコン接続

図14.FreeSpace®アンプで使用するボリュームコントローラー



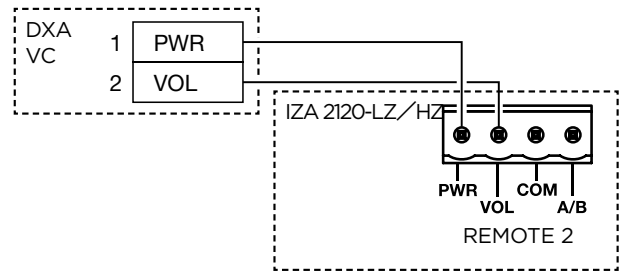
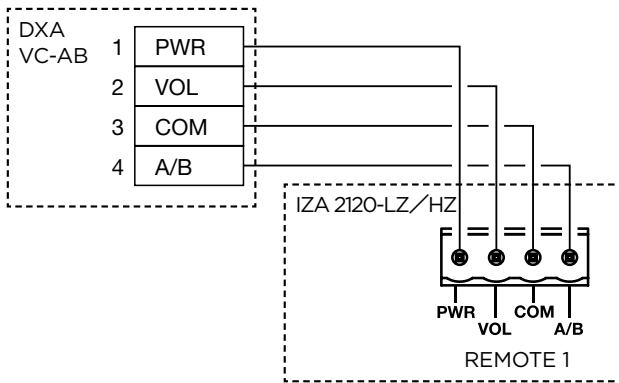
ボリュームコントローラー「DXA VC」は、音量調節が必要な場合にのみ使用するオプションです。



ボリュームコントローラー「DXA VC-AB」は、出力で複数の入力ソースからの音声を提供する場合、ステレオセレクトモードまたはデュアルモノセレクトモードで使用するためのオプションです。

リモートボリュームコントロールおよびソース選択コントロール

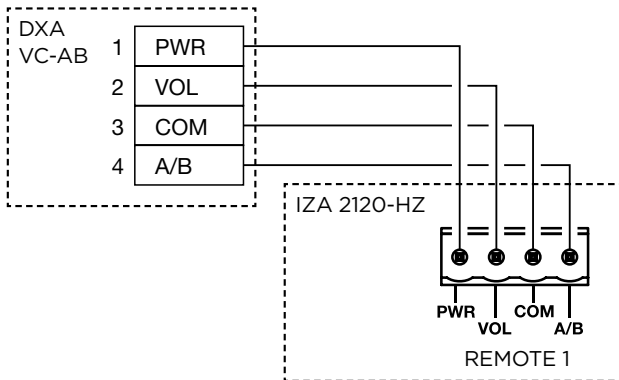
このアンプは、オプションのボリュームコントローラー「DXA VC-AB」または「DXA VC」を使用して動作するように設計されています。アンプのリアパネルのREMOTEコネクターには、このボリュームコントローラーのコネクターと一致するラベルが付けられています。付属の4ピンユーロブロックを使用します。詳細は、該当するボリュームコントローラーの取扱説明書をご参照ください。



IZA 2120-HZのリモート構成例

構成例1:

REMOTE 1には「DXA VC-AB」を使用できます。REMOTE 1は、両方の出力のレベルとソース選択を同時にコントロールします。この構成では、REMOTE 1 CONTROL DIPスイッチをZONE 1+2に、A/B SELECT DIPスイッチをREMOTEに設定する必要があります。使用するリモコンが1台のみの場合は、このスイッチをZONE 1_2に設定する必要があります。このスイッチをZONE 1に設定した場合、REMOTE入力は動作せず、フロントパネルのコントロールがアクティブになります。

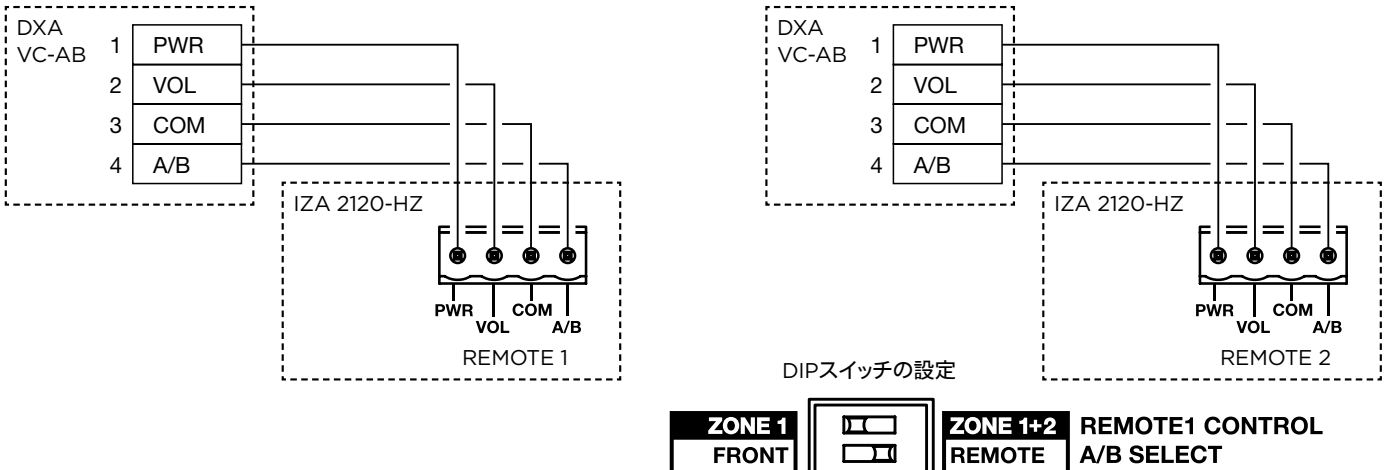


DIPスイッチの設定



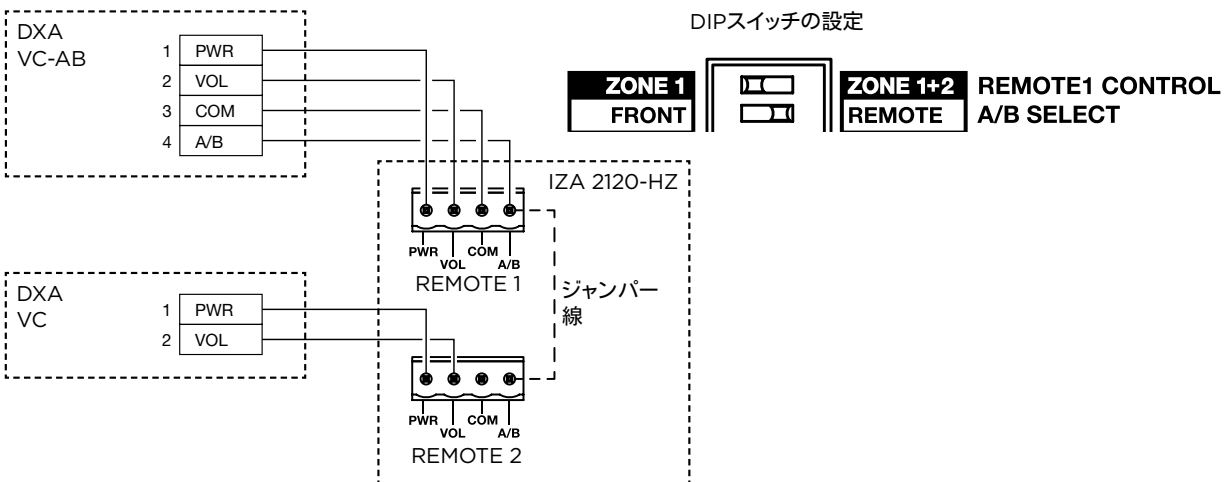
構成例2:

REMOTE 1とREMOTE 2に、「DXA VC-AB」を使用できます。REMOTE 1は出力1のレベルとソース選択をコントロールし、REMOTE 2は出力2のレベルとソース選択をコントロールします。この構成では、REMOTE 1 CONTROL DIPスイッチをZONE 1に、A/B SELECT DIPスイッチをREMOTEに設定する必要があります。



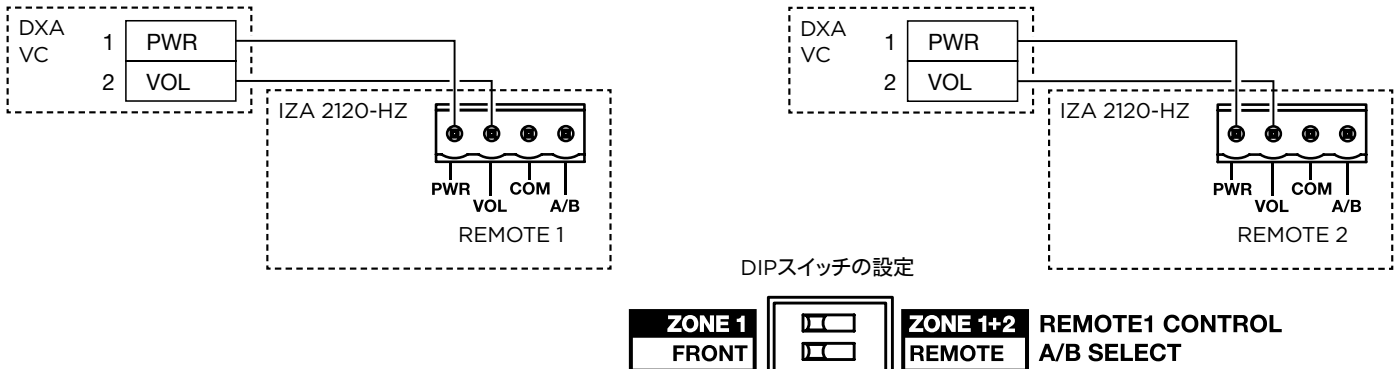
構成例3

REMOTE 1には「DXA VC-AB」を使用し、REMOTE 2には「DXA VC」を使用できます。この構成では、REMOTE 1が出力1のレベルと両出力のソース選択をコントロールします。REMOTE 2は、出力2のレベルをコントロールします。REMOTE 1のA/Bピンを、REMOTE 2のA/Bピンにジャンパーで接続する必要があります。この構成では、REMOTE 1 CONTROL DIPスイッチをZONE 1に、A/B SELECT DIPスイッチをREMOTEに設定する必要があります。A/Bジャンパーが接続されていない場合、出力2はデフォルトで入力Bを常時出力します。出力2で入力Aを常時出力するには、REMOTE 2のA/BピンとCOMピンをジャンパーで接続する必要があります。この構成では、「DXA VC」をREMOTE 1で使用し、「DXA VC-AB」をREMOTE 2で使用した逆のリモートタイプでも動作します。



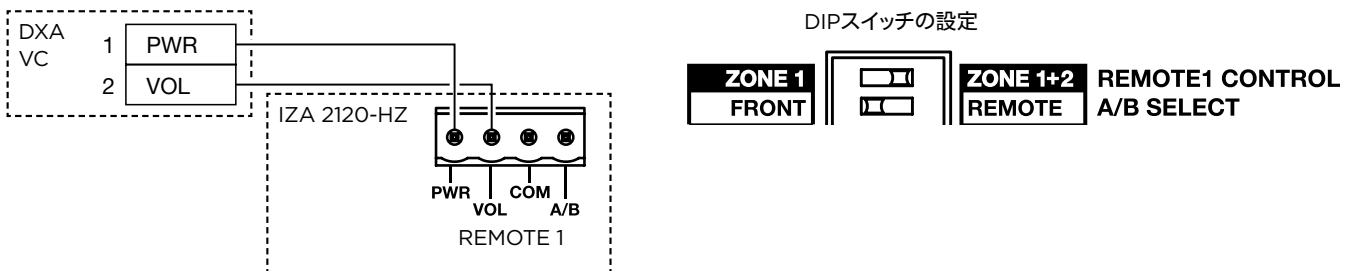
構成例4:

REMOTE 1およびREMOTE 2には、「DXA VC」を接続できます。この構成では、REMOTE 1で出力1のレベルを調整し、REMOTE 2で出力2のレベルを調整します。両方の出力のA/Bソース選択は、フロントパネルスイッチで同時に制御できます。この構成は、REMOTE 1 CONTROL DIPスイッチをZONE 1に、A/B SELECT DIPスイッチをFRONTに設定する必要があります。



構成例5:

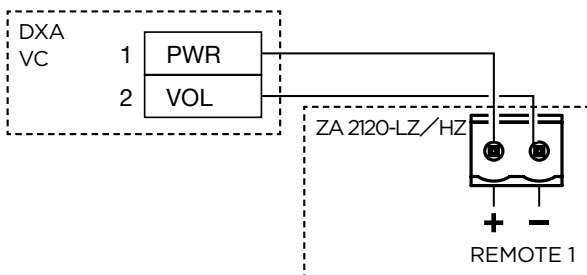
REMOTE 1には、「DXA VC」を接続できます。この構成では、REMOTE 1で両方の出力のレベルを同時に調整します。両方の出力のA/Bソース選択は、フロントパネルスイッチで同時に制御できます。この構成は、REMOTE 1 CONTROL DIPスイッチをZONE 1+2に、A/B SELECT DIPスイッチをFRONTに設定する必要があります。



ゾーンアンプへのリモコンの接続

音量のリモートコントロール

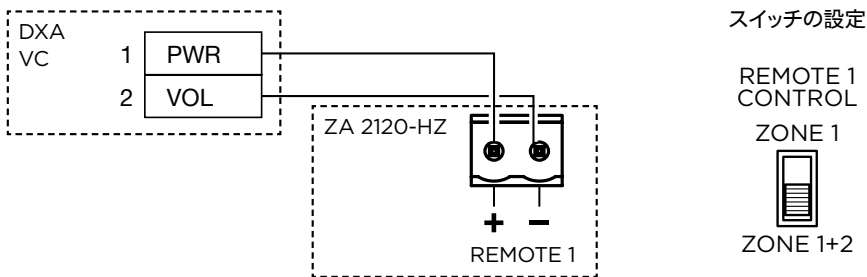
ゾーンアンプは、「DXA VC」で操作できるように設計されています。アンプのリアパネルのREMOTEコネクタには、このボリュームコントローラーのコネクタと一致するラベルが付けられています。付属の2ピンユーロブロックを使用します。詳しくは、ボリュームコントローラーアクセサリーの設置ガイドを参照してください。



ZA 2120-HZのリモコンの構成例

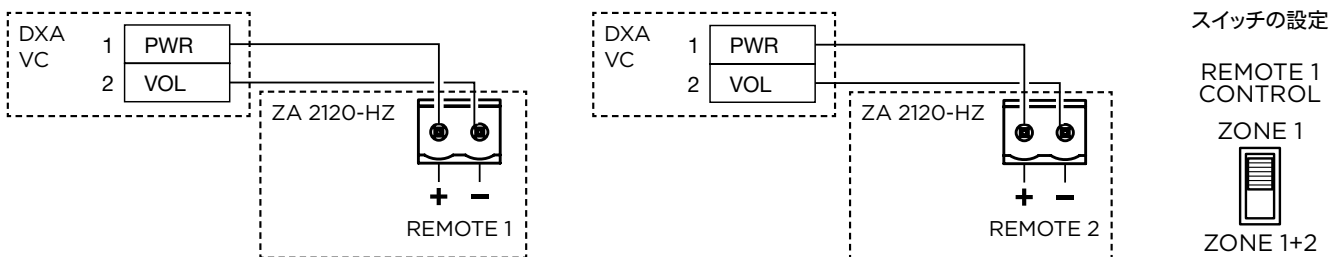
構成例1:

REMOTE 1には、「DXA VC」を接続できます。REMOTE 1で両方の出力のレベルを同時に調整することになります。この構成は、REMOTE 1 CONTROLスイッチをZONE 1+2に設定する必要があります。使用するリモコンが1台のみの場合は、このスイッチをZONE 1+2に設定する必要があります。このスイッチをZONE 1に設定すると、REMOTEが動作しなくなります。



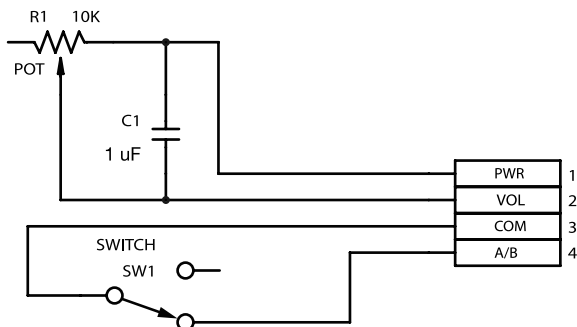
構成例2:

REMOTE 1およびREMOTE 2には、「DXA VC」を接続できます。この構成では、REMOTE 1で出力1のレベルを調整し、REMOTE 2で出力2のレベルを調整します。この構成は、REMOTE 1 CONTROLスイッチをZONE 1に設定する必要があります。



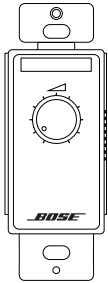
リモコンの入力機能

リニアテーパー10 kΩのポテンショメーター(反時計回りいっぱい0 Ω、時計回りいっぱい10 kΩ)およびSPDTスイッチを使用してアンプを制御することもできます。SW1スイッチの設定でA/BピンをCOMピンに短絡すると、アンプは入力Aに切り替わります。SW1スイッチの設定でA/Bピンをオープンにすると、アンプは入力Bに切り替わります。

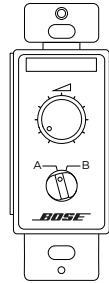


ControlCenterゾーンコントローラーの接続

図15.ControlCenter CC-1およびCC-2ゾーンコントローラー



Bose® ControlCenter CC-1ゾーンコントローラーは音量のみを調節します。

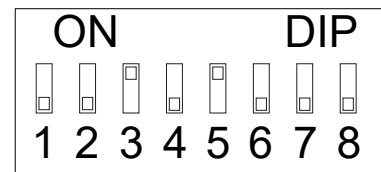
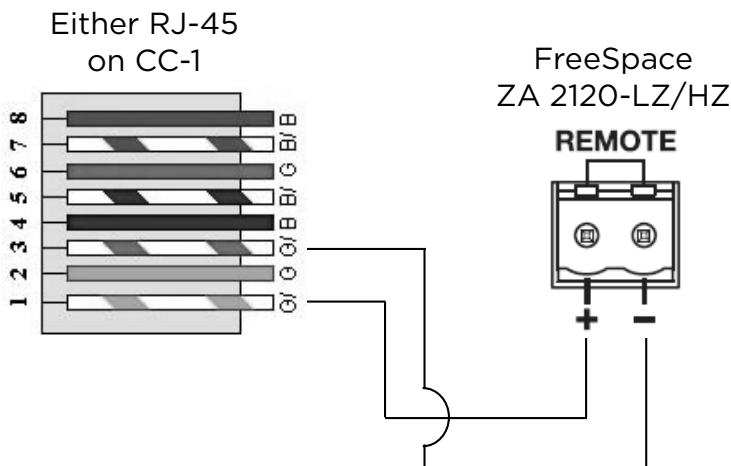
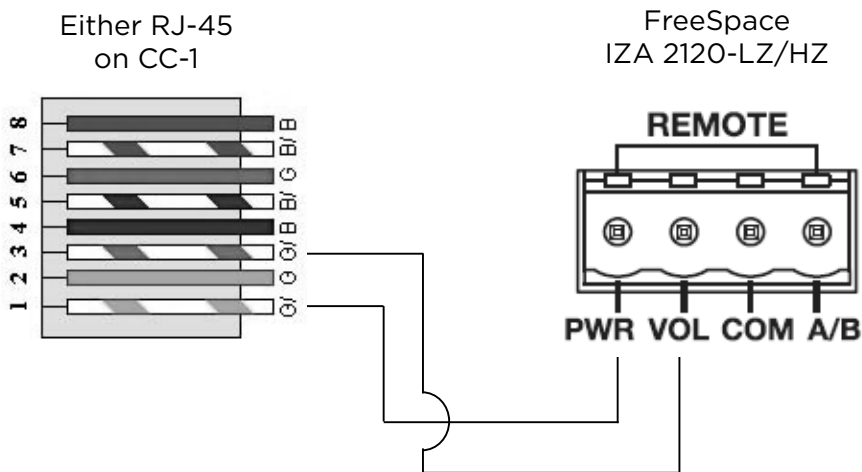


Bose® ControlCenter CC-2ゾーンコントローラーは音量の調節と2系統のソースを切り替えます。

CC-1のFreeSpace®アンプへの接続

1台のCC-1

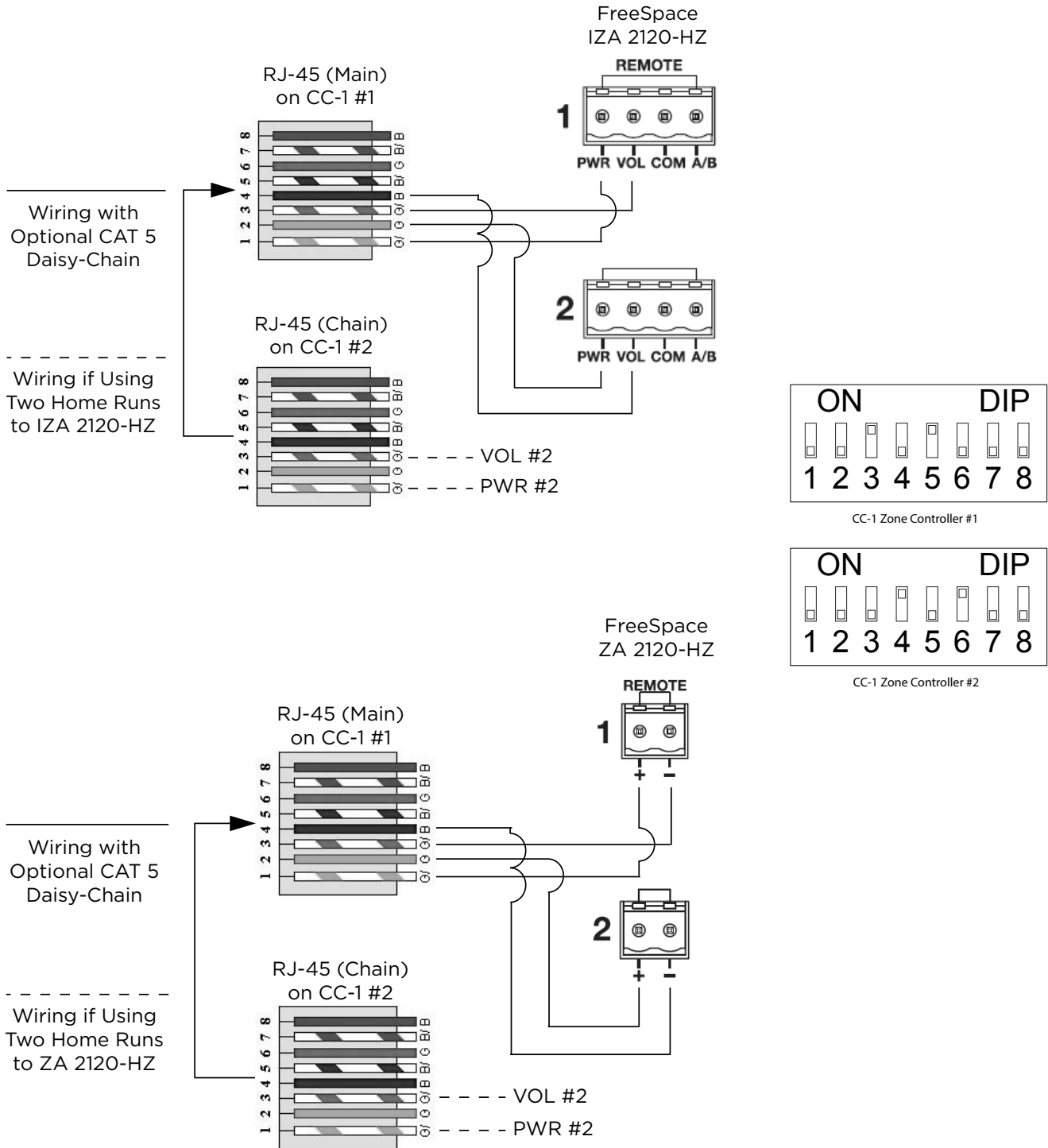
1台のCC-1ゾーンコントローラーをFreeSpace®アンプ (IZA 2120-LZ/HZまたはZA 2120-LZ/HZ)に接続します。DIPスイッチはZA 2120-LZA/HZAへの接続時と同じです。



CC-1 Zone Controller #1

2台のCC-1

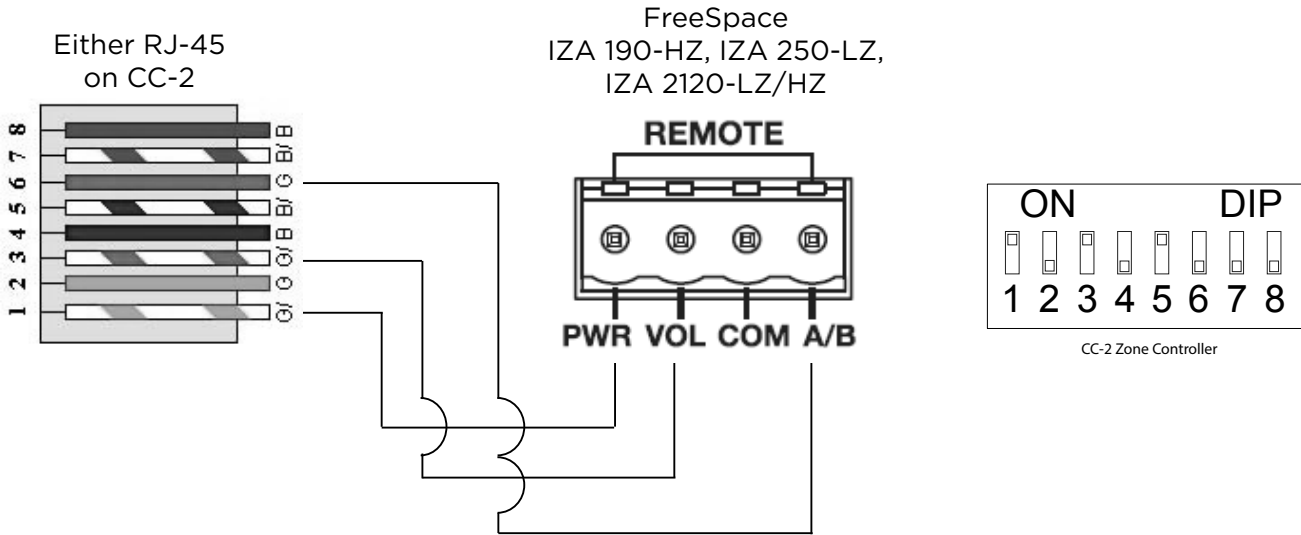
2台のグループ化されたCC-1ゾーンコントローラーをFreeSpace®アンプ (IZA 2120-HZまたはZA 2120-HZ)に接続します。DIPスイッチはZA 2120-HZAへの接続時と同じです。



CC-2のFreeSpace®アンプへの接続

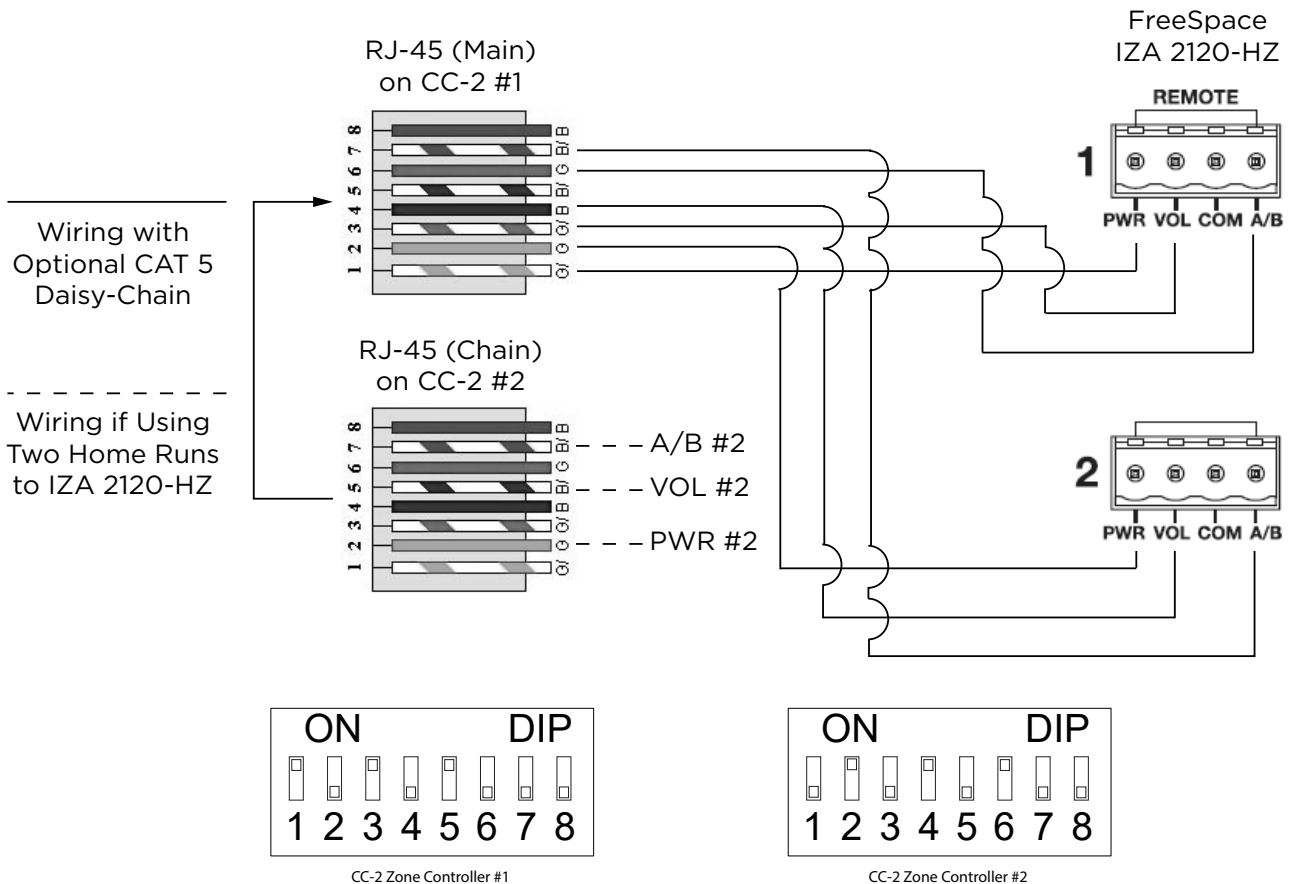
1台のCC-2

1台のCC-2ゾーンコントローラーをFreeSpace®アンプ (IZA 2120-LZ/HZ)に接続します。



2台のCC-2

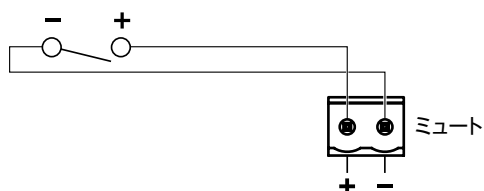
2台のグループ化されたCC-2ゾーンコントローラーをFreeSpace®アンプ (IZA 2120-HZ)に接続します。



標準のコンタクトクローザーでのミュート

MUTE接点間を短絡すると、アンプではすべての出力(AUX OUTを含む)がミュートされるように設計されています。付属の2ピンユーロブロックを使用します。

図16.アンプのミュートコンタクトクローザー



スピーカーの使用

以下の表に、各スピーカータップ設定について、IZA 2120-HZまたはZA 2120-HZAのアンプ出力でサポートされるスピーカーの最大数を示します。このデータは、各アンプ出力あたりの最大出力120ワットを基準にしています。各出力で120 Wを超えないようにします。

アンプ出力あたりのハイインピーダンススピーカー数

	1出力あたりのスピーカーの最大数/タップ設定				
	120/1W	60/2W	30/4W	15/8W	7/16W
DS16	120/1W	60/2W	30/4W	15/8W	7/16W
DS40	48/2.5W	24/5W	12/10W	6/20W	3/40W
DS100	9/12.5W	4/25W	2/50W	1/100W	
FS3システム	4/25W	2/50W	1/100W	0/200W	
FS3ベースモジュール	4/25W	2/50W	1/100W	0/200W	
FS360P II	12/10W	6/20W	3/40W	1/80W	
RMU105:					
RMUXF40トランス使用	48/2.5W	24/5W	12/10W	6/20W	3/40W
RMUXF100トランス使用	9/12.5W	4/25W	2/50W	1/100W	

ZAアンプによるIZAシステムの拡張

拡張の概要

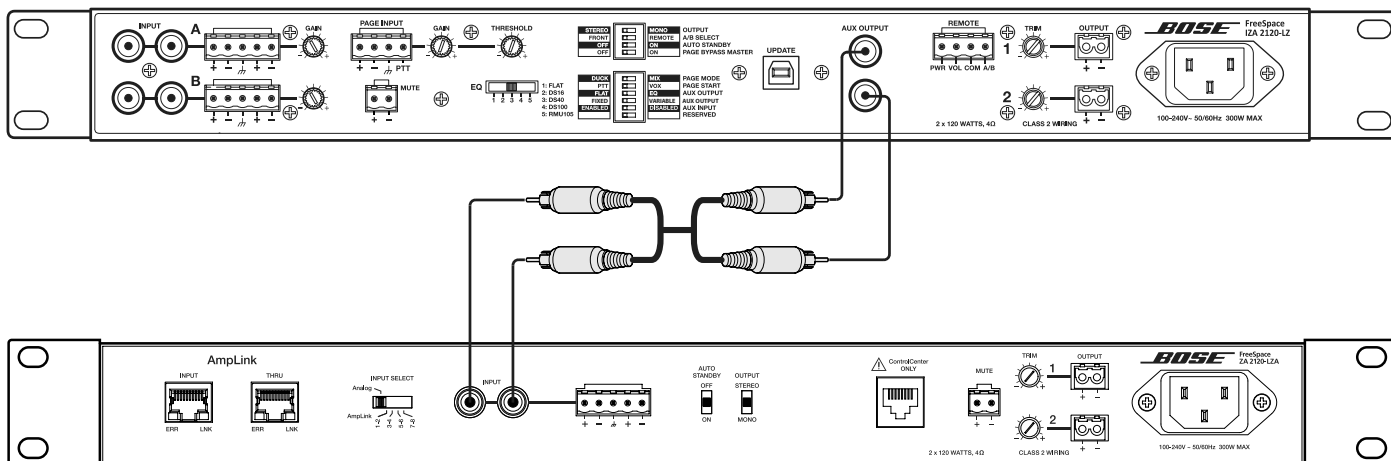
FreeSpace®ゾーンアンプのシステムは簡単に拡張できます。システムを設計する上で、FreeSpace IZA 2120-LZ/HZ 一体型ゾーンアンプでサポートされるよりも多くのスピーカーが必要な場合、FreeSpaceゾーンアンプを接続してパワーゾーンを追加できます。

これらを接続すると、IZA 2120-LZ/HZおよびゾーンアンプ (ZA 2120-LZA/HZA, ZA 250-LZ, ZA 190-HZ) は1つのシステムとして連携して動作し、同じ音楽を共有したり、ソースをページングしたりすることができます。IZA 2120-LZ/HZ アンプはゾーンアンプのマスターとして動作し、増幅するオーディオソースを選択できます。1つの広大なゾーンで一体型ゾーンアンプを使用して全体のMASTER LEVEL音量を調節したり、ボリュームコントローラーで複数ゾーンの音量調節をしたりできます。

ZA 2120-LZA/HZAアンプへのIZA 2120-LZ/HZアンプの接続

付属のRCAケーブルを使用して、IZA 2120-LZ/HZアンプのAUX OUTをゾーンアンプのアンバランスINPUTに接続します。

図17.ZA 2120-LZA/HZAへのIZA 2120-LZ/HZの接続

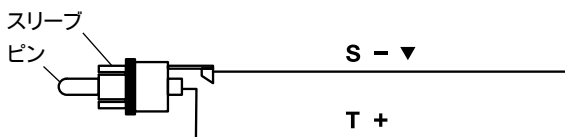


注: アンプを接続する場合、ノイズが発生する可能性を低くするために、両方のアンプの電源ケーブルを同じコンセントに接続することをお勧めします。

ライン入力の接続

外部のシグナルプロセッサを前段に使用したり、複数のゾーンアンプを一体型ゾーンアンプに接続する場合、付属のRCAケーブルの変更が必要な場合があります。ゾーンアンプのラインレベル入力RCAコネクターの配線図を以下に示します。

図18.ゾーンアンプのラインレベルの入力コネクター



複数のゾーンアンプへのIZA 2120-LZ/HZアンプの接続

IZA 2120-LZ/HZのAUX出力は、信号を損失することなく、4台のゾーンアンプにスター配線で接続できます。

図19.T/S RCAコネクタを使用した4台のゾーンアンプの接続

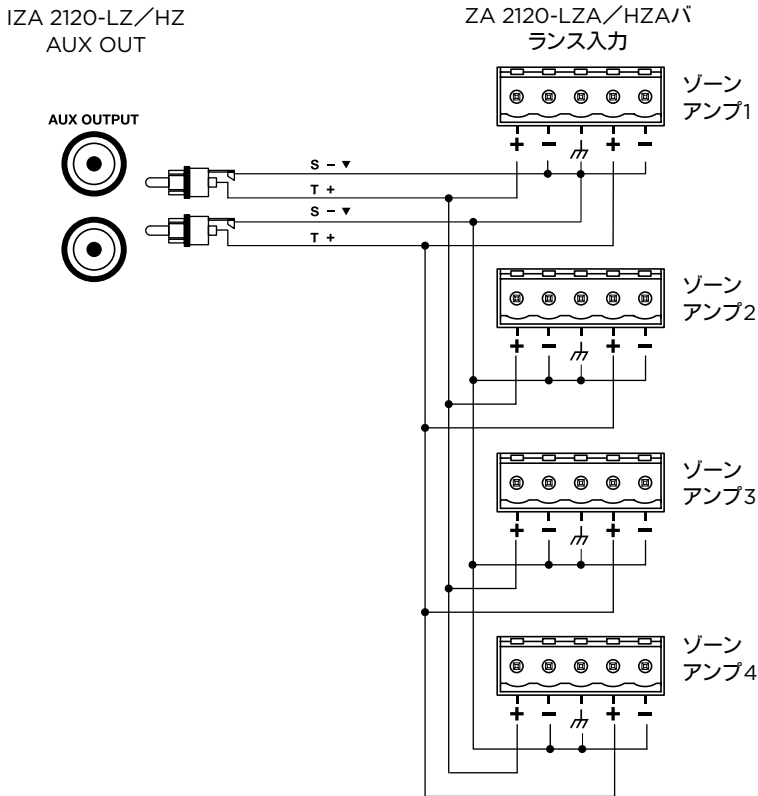
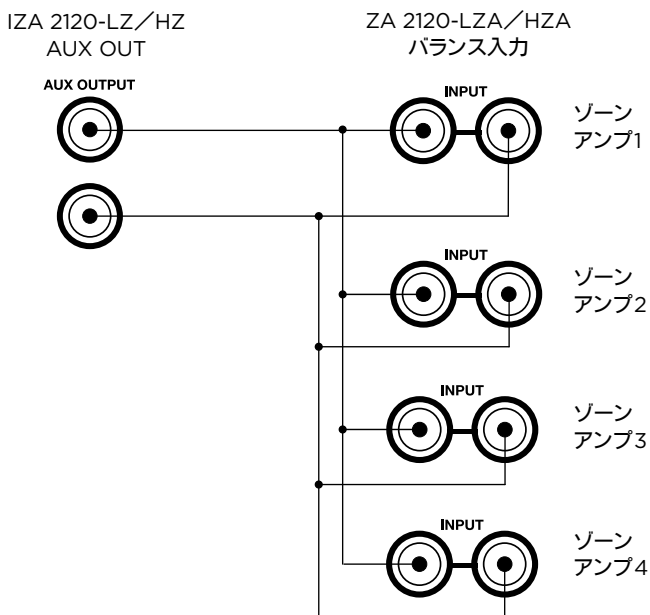


図20.分岐可能なRCAケーブルを使用したゾーンアンプの接続



AC電流引き込みおよび放熱に関する情報

アンプのチャンネル定格出力は120 Wです。

IZA 2120-LZ、AC電流引き込みおよび熱散逸							
テスト信号および出力レベル	負荷構成 (IZA両チャンネル駆動)	合計オーディオ出力、W	120 VAC 60 Hz ライン電流、A	230 VAC 50 Hz ライン電流、A	熱分散、最大		
					ワット	BTU/時	kcal/時
電源投入、アイドル状態		0	0.15	0.12	27	92	23
定格出力の1/8 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	8Ω/Ch	15	0.30	0.18	26	90	23
	4Ω/Ch	30	0.51	0.30	39	133	34
定格出力の1/3 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	8Ω/Ch	40	0.63	0.33	36	122	31
	4Ω/Ch	80	1.15	0.58	58	198	50
IZA 2120-HZ、AC電流引き込みおよび熱分散							
テスト信号および出力レベル	負荷構成 (IZA両チャンネル駆動)	合計オーディオ出力、W	120 VAC 60 Hz ライン電流、A	230 VAC 50 Hz ライン電流、A	熱分散、最大		
					ワット	BTU/時	kcal/時
電源投入、アイドル状態		0	0.19	0.13	31	104	26
定格出力の1/8 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	70 V/Ch	30	0.56	0.30	39	133	34
	100 V/Ch	30	0.60	0.31	42	143	36
定格出力の1/3 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	70 V/Ch	80	1.18	0.57	62	210	53
	100 V/Ch	80	1.15	0.58	58	198	50

アンプのチャンネル定格出力は120 Wです。

ZA 2120-LZA、AC電流引き込みおよび熱分散							
テスト信号および出力レベル	負荷構成 (1ZA両チャンネル駆動)	合計オーディオ出力、W	120 VAC 60 Hz ライン電流、A	230 VAC 50 Hz ライン電流、A	熱分散、最大		
					ワット	BTU/時	kcal/時
電源投入、アイドル状態		0	0.15	0.11	25	86	22
定格出力の1/8 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	8Ω/Ch	15	0.33	0.19	29	98	25
	4Ω/Ch	30	0.52	0.28	34	117	30
定格出力の1/3 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	8Ω/Ch	40	0.57	0.31	31	107	27
	4Ω/Ch	80	1.00	0.56	49	167	42
ZA 2120-HZA、AC電流引き込みおよび熱分散							
テスト信号および出力レベル	負荷構成 (1ZA両チャンネル駆動)	合計オーディオ出力、W	120 VAC 60 Hz ライン電流、A	230 VAC 50 Hz ライン電流、A	熱分散、最大		
					ワット	BTU/時	kcal/時
電源投入、アイドル状態		0	0.20	0.14	32	110	28
定格出力の1/8 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	70 V/Ch	30	0.50	0.30	37	125	32
	100 V/Ch	30	0.60	0.30	41	141	36
定格出力の1/3 IEC268帯域制限ピンクノイズ 6 dBクレストファクター DS 16 EQ有効	70 V/Ch	80	1.10	0.60	58	198	50
	100 V/Ch	80	1.10	0.60	58	198	50

その他の情報

お使いの製品(アクセサリ、交換パーツを含む)の詳細は、取扱説明書を参照してください。オンライン(pro.Bose.com)で入手できます。弊社Webサイトをご参照ください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。保証の詳細については、pro.Bose.comにアクセスしてください。

製造日

シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「6」は2006年または2016年です。

IZA 2120-LZ仕様

定格出力			
アンプ出力	2 x 120 W @ 4 Ω、 ² x ⁶⁰ W @ ⁸ Ω		
オーディオ性能			
周波数特性	20 Hz~20 kHz(+0/-3 dB @ 1 W基準1 kHz)		
THD+N	≤0.5 % (定格出力時)		
チャンネル分離(クロストーク)	≤-58 dBu (定格出力未満、1 kHz)		
ダイナミックレンジ	88 dB		
DSP			
A/DおよびD/A変換器	24ビット/48 kHz		
処理機能	スピーカーEQ、Bose® Opti-voice®ペーシング、ダイナミックEQ		
スピーカープリセット	Flat、FreeSpace® DS 16、DS 40、DS 100、RoomMatch® Utility RMU105		
オーディオレイテンシー	10.4 ms (任意の入力からスピーカー出力やAUX出力)		
オーディオ入力			
	ライン入力	ペーシング入力	AUX入力
入力チャンネル	アンバランス(x2)、バランス(x2)	バランスマイク/ライン(x1)	
コネクタ	ステレオRCA、ユーロブロック(5ピン)	ユーロブロック(4ピン)	3.5 mm(1/8インチ) TRS
入力レンジ	-8~22 dBu	-58~12 dBu	-60~-1 dBu
調整レンジ	0~-30 dB	0~+50 dB	固定
入力インピーダンス	20 kΩ	2 kΩ	20 kΩ
最大入力レベル	22 dBu	12 dBu	-1 dBu
感度	-8 dBu	該当せず	-3 dBu
公称入力レベル	4 dBu	-38 dBu	-8 dBu
オーディオ出力			
	アンプ出力	AUX出力	
出力	2	アンバランス(x1)	
コネクタ	ユーロブロック(2ピン・オス)	ステレオRCA	
出力インピーダンス	4 Ω	150 Ω	
公称出力レベル	2 x 120 W @ 4 Ω、 ² x ⁶⁰ W @ ⁸ Ω	2 dBu	
インジケータおよびコントロール			
電源LED	青色点灯は電源投入、青色点滅はスタンバイモードを示す		
INPUT SIGNAL CLIP LED	-37~11 dBuの入力信号で緑色、11 dBuを超えると赤色(MASTER LEVEL=5)		
OUTPUT SIGNAL CLIP LED	-46~-2 dBFSの入力信号で緑色、-2 dBFSを超えると赤色(約80 W/チャンネル、各出力120ワットは0 dBFS)		
コントロール、フロントパネル	電源オン/オフ、入力選択(A/B)、高域/低域調節、マスターレベル		
コントロール、リアパネル	アンプモードDIPスイッチ、スピーカーEQプリセットセレクター、入力ゲイン(A/B、またはペーシング)、出力トリム、リモート		
電気の仕様			
電源電圧	100~240 VAC(±10 %、50/60 Hz)		
消費電力	10.6 W(スタンバイ)、300 W(最大)		
電源コネクタ	標準IEC(C14)		
最大突入電流	12.6アンペア(230 VAC/50 Hz)、6.6アンペア(120 VAC/60 Hz)		
過負荷保護	高温、出力ショート、過度に低いまたは高い電源電圧		
物理的仕様			
外形寸法	44 mm(H) × 483 mm(W) × 324 mm(D)		
梱包質量	約5.4 kg		
質量	約4.1 kg		
冷却システム	単一ファンによる左から右への連続空冷		
その他			
入力(制御)	CC-1 ControlCenterゾーンコントローラーまたはボリュームコントロールユーザーインターフェース(PC041966)のリモート入力、CC-2 ControlCenterゾーンコントローラー、またはA/Bセレクトユーザーインターフェース(PC041967)を使用したボリュームコントロールのリモート入力、通常オープンなコンタクトクロージャーを介したミュート入力制御		

IZA 2120-HZ仕様

定格出力			
アンプ出力	2 x 120 W @ 70/100 V		
オーディオ性能			
周波数特性	55 Hz~20 kHz(+0/-3 dB @ 1 W基準1 kHz)		
THD+N	≤0.3 % (定格出力時)		
チャンネル分離(クロストーク)	≤-58 dBu (定格出力未満、1 kHz)		
ダイナミックレンジ	88 dB		
DSP			
A/DおよびD/A変換器	24ビット/48 kHz		
処理機能	スピーカーEQ、Bose® Opti-voice®ペーシング、ダイナミックEQ		
スピーカープリセット	FreeSpace® FS3/HPF、DS 16、DS 40、DS 100、FS3B		
オーディオレイテンシー	10.4 ms (任意の入力からスピーカー出力やAUX出力)		
オーディオ入力			
	ライン入力	ペーシング入力	AUX入力
入力チャンネル	アンバランス(x2)、バランス(x2)	バランスマイク/ライン(x1)	アンバランスライン(x1)
コネクタ	ステレオRCA、ユーロブロック(5ピン)	ユーロブロック(4ピン)	3.5mm(1/8インチ)TRS
入力レンジ	-8~22 dBu	-58~12 dBu	-60~-1 dBu
調整レンジ	0~-30 dB	0~+50 dB	固定
入力インピーダンス	20 kΩ	2 kΩ	20 kΩ
最大入力レベル	22 dBu	12 dBu	-1 dBu
感度	-8 dBu	該当せず	-3 dBu
公称入力レベル	4 dBu	-38 dBu	-8 dBu
オーディオ出力			
	アンプ出力	AUX出力	
出力	2	アンバランス(x1)	
コネクタ	ユーロブロック(2ピン・オス)	ステレオRCA	
出力インピーダンス	該当せず	400 Ω	
公称出力レベル	2 x 120 W @ 70/100 V	2 dBu	
インジケータおよびコントロール			
電源LED	青色点灯は電源投入、青色点滅はスタンバイモードを示す		
INPUT SIGNAL CLIP LED	-37~11 dBuの入力信号で緑色、11 dBuを超えると赤色(MASTER LEVEL=5)		
OUTPUT SIGNAL CLIP LED	-46~-2 dBFSの出力信号で緑色、-2 dBFSを超えると赤色(約80 W/チャンネル、各出力120ワットは0 dBFS)		
コントロール、フロントパネル	電源オン/オフ、入力選択(A/B)、高域/低域調節(x2)、マスターレベル		
コントロール、リアパネル	アンプモードのDIPスイッチ、スピーカーのEQプリセットセレクター、入力ゲイン(A/B、またはペーシング)、出力トリム、リモート(x2)		
電氣的仕様			
電源電圧	100~240 VAC(±10 %、50/60 Hz)		
消費電力	13.8 W(スタンバイ)、300 W(最大)		
電源コネクタ	標準IEC(C14)		
最大突入電流	12.6アンペア(230 VAC/50 Hz)、6.6アンペア(120 VAC/60 Hz)		
過負荷保護	高温、出力ショート、過度に低いまたは高い電源電圧		
物理的仕様			
外形寸法	44 mm(H) × 483 mm(W) × 324 mm(D)		
梱包質量	約5.4 kg		
質量	約4.1 kg		
冷却システム	単一ファンによる左から右への連続空冷		
その他			
入力(制御)	CC-1 ControlCenterゾーンコントローラーまたはボリュームコントロールユーザーインターフェース(PC041966)のリモート入力、CC-2 ControlCenterゾーンコントローラー、またはA/Bセレクトユーザーインターフェース(PC041967)を使用したボリュームコントロールのリモート入力、通常オープンなコンタクトクローザーを介したミュート入力制御		

ZA 2120-LZA仕様

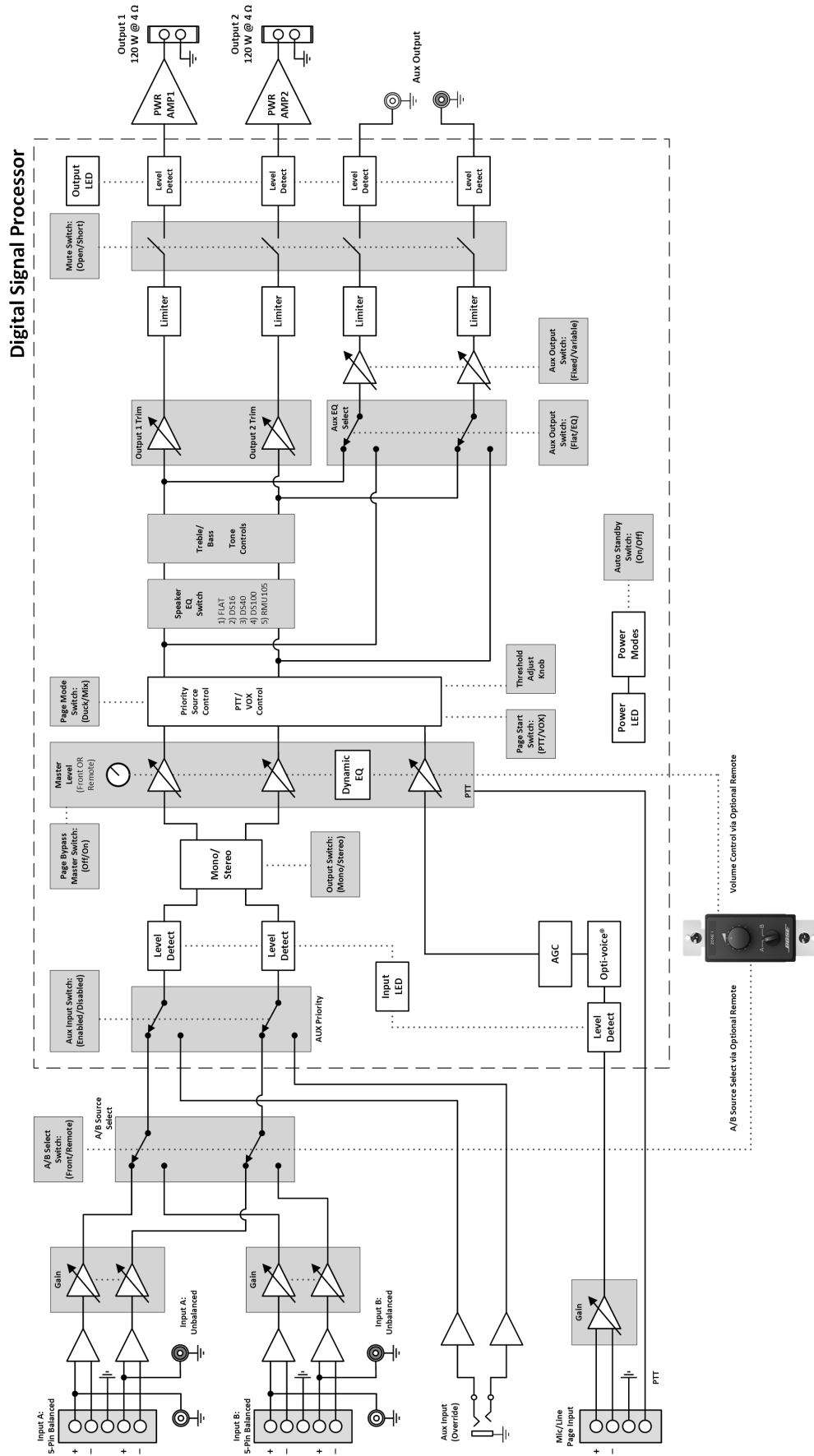
定格出力		
アンプ出力	2 x 120 W @ 4 Ω、2 x 60 W @ 8 Ω	
オーディオ性能		
周波数特性	20 Hz~20 kHz(+0/-3 dB @ 1 W基準1 kHz)	
THD+N	≤0.5 % (定格出力時)	
チャンネル分離(クロストーク)	≤-58 dBu (定格出力未満、1 kHz)	
ダイナミックレンジ	88 dB	
オーディオ入力	アナログ	AmpLink
入力チャンネル	アンバランス(x1)、バランス(x1)	8デジタル
コネクタ	ステレオRCA、ユーロブロック(5ピン)	RJ-45(入力)
入力レンジ	-8~22 dBu	
入力インピーダンス	20 kΩ	
最大入力レベル	22 dBu	
公称入力レベル	4 dBu	
オーディオレイテンシー	1ミリ秒(スピーカー出力へのアナログ入力)	1.5ミリ秒(スピーカー出力へのAmpLink入力)
オーディオ出力	アナログ	AmpLink
出力	2	8デジタル
コネクタ	ユーロブロック(2ピン・オス)	RJ-45(スルー)
公称出力レベル	2 x 120 W @ 4 Ω、 ² x 60 W @ ⁸ Ω	
インジケータおよびコントロール		
電源LED	青色点灯は電源投入、青色点滅はスタンバイモードを示す。	
INPUT SIGNAL CLIP LED	-37~-11 dBuの入力信号で緑色、11 dBuを超えると赤色。	
OUTPUT SIGNAL CLIP LED	-46~-2 dBFSの出力信号で緑色、-2 dBFSを超えると赤色(約80 W/チャンネル、各出力120ワットは0 dBFS)	
AmpLink ERR LED	黄色の点灯は、ミュートコネクタにより音声ミュートされていることを示します。黄色の点滅はエラーを示し、音声もミュートされます。	
AmpLink LNK LED	緑の点灯は通常の動作を示します。	
コントロール、フロントパネル	電源オン/オフ	
コントロール、リアパネル	自動スタンバイ: オン/オフスイッチ、出力: ステレオ/モノラルスイッチ、ミュート、出力トリム、リモートRJ-45	
電氣的仕様		
電源電圧	100~240 VAC(±10 %、50/60 Hz)	
消費電力	10.6 W(スタンバイ)、300 W(最大)	
電源コネクタ	標準IEC(C14)	
最大突入電流	12.6アンペア(230 VAC/50 Hz)、7.8アンペア(120 VAC/60 Hz)	
過負荷保護	高温、出力ショート、過度に低いまたは高い電源電圧	
物理的仕様		
外形寸法	44 mm(H) × 483 mm(W) × 324 mm(D)	
梱包質量	約5.2 kg	
質量	約4.1 kg	
冷却システム	単一ファンによる左から右への連続空冷	
その他		
入力(制御)	CC-1 ControlCenterゾーンコントローラーまたは音量調節ユーザーインターフェース(PC041966)用のRJ-45リモート入力(x1)。通常オープンなコンタクトクローザを介したミュート入力制御。	

ZA 2120-HZA仕様

定格出力		
アンプ出力	2 x 120 W @ 70/100 V	
オーディオ性能		
周波数特性	55 Hz~20 kHz(+0/-3 dB @ 1 W基準1 kHz)	
THD+N	≤0.3 % (定格出力時)	
チャンネル分離(クロストーク)	≤-58 dBu (定格出力未滿, 1 kHz)	
ダイナミックレンジ	88 dB	
オーディオ入力	アナログ	AmpLink
入力チャンネル	アンバランス(x1)、バランス(x1)	8デジタル
コネクタ	ステレオRCA、ユーロブロック(5ピン)	RJ-45(入力)
入力レンジ	-8~22 dBu	
入力インピーダンス	20 kΩ	
最大入力レベル	22 dBu	
公称入力レベル	4 dBu	
オーディオレイテンシー	1ミリ秒(スピーカー出力へのアナログ入力)	1.5ミリ秒(スピーカー出力へのAmpLink入力)
オーディオ出力	アナログ	AmpLink
出力	2	8デジタル
コネクタ	ユーロブロック(2ピン・オス)	RJ-45(スルー)
公称出力レベル	2 x 120 W @ 4 Ω、 ² x 60 W @ ⁸ Ω	
インジケータおよびコントロール		
電源LED	青色点灯は電源投入、青色点滅はスタンバイモードを示す。	
INPUT SIGNAL CLIP LED	-37~11 dBuの入力信号で緑色、11 dBuを超えると赤色。	
OUTPUT SIGNAL CLIP LED	-46~-2 dBFSの出力信号で緑色、-2 dBFSを超えると赤色(約80 W/チャンネル、各出力120ワットは0 dBFS)	
AmpLink ERR LED	黄色の点灯は、ミュートコネクタにより音声ミュートされていることを示します。黄色の点滅はエラーを示し、音声もミュートされます。	
AmpLink LNK LED	緑の点灯は通常の動作を示します。	
コントロール、フロントパネル	電源オン/オフ	
コントロール、リアパネル	自動スタンバイ: オン/オフスイッチ、出力: ステレオ/モノラルスイッチ、ミュート、出力トリム、リモートRJ-45	
電氣的仕様		
電源電圧	100~240 VAC(±10 %、50/60 Hz)	
消費電力	13.0 W(スタンバイ)、300 W(最大)	
電源コネクタ	標準IEC(C14)	
最大突入電流	12.6アンペア(230 VAC/50 Hz)、7.8アンペア(120 VAC/60 Hz)	
過負荷保護	高温、出力ショート、過度に低いまたは高い電源電圧	
物理的仕様		
外形寸法	44 mm(H) × 483 mm(W) × 324 mm(D)	
梱包質量	約5.3 kg	
質量	約4.3 kg	
冷却システム	単一ファンによる左から右への連続空冷	
その他		
入力(制御)	CC-1 ControlCenterゾーンコントローラーまたは音量調節ユーザーインターフェース(PC041966)用のRJ-45リモート入力(x1)。通常オープンなコンタクトクローザを介したミュート入力制御。	

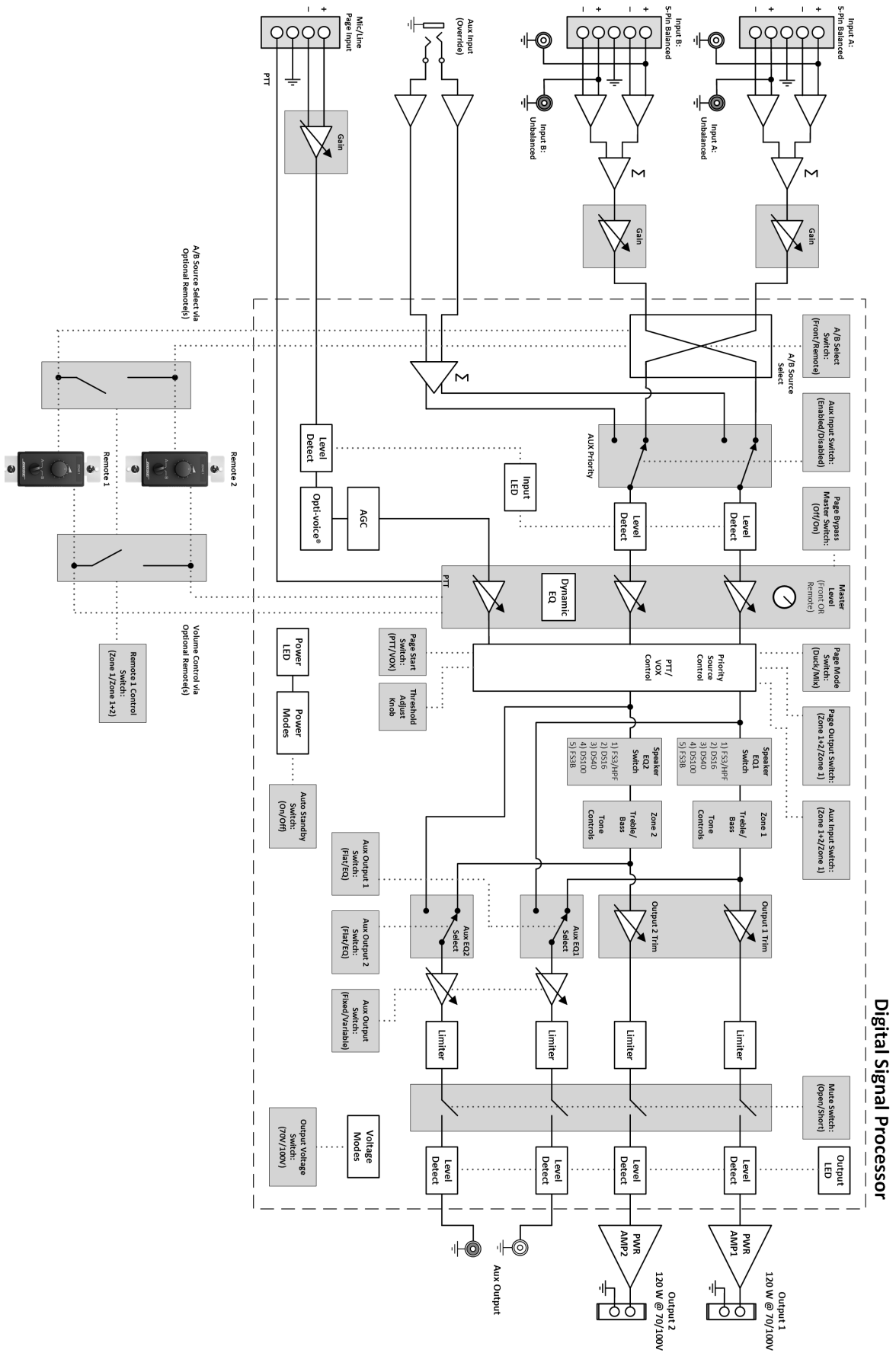
故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチをオンにします。オンになると、フロントパネルの青色LEDが表示されます。 電源コードのプラグが差し込まれていることを確認します。 別の機器が稼働しているコンセントに差し替えてみます。
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っているのに音が聴こえない 	<ul style="list-style-type: none"> 入力ソースの電源が入っていることを確認します。 ソースから入力信号が出ていることを確認します。 ソースとアンプを繋いでいるケーブルの接続を確認します。 フロントパネルで必要なソース(A/B)が選択されていることを確認します。 リアパネルでボリュームコントローラーをREMOTEコネクタに接続している場合、ボリュームコントローラーで必要なソース(A/B)が選択されていることを確認します(ボリュームコントローラーでの設定はフロントパネルでのソース選択よりも優先されます)。 MASTER LEVELコントロールで音量が上げられていることを確認します。 リアパネルでボリュームコントローラーをREMOTEコネクタに接続している場合、ボリュームコントローラーで音量調節が大きくなっていることを確認します(ボリュームコントローラーでの設定はフロントパネルのMASTER LEVELコントロールよりも優先されます)。 3.5 mm (1/8インチ)のTRS入力ケーブルがAUX INPUTに接続されていないことを確認します。 AUX INPUTには機械的な優先機能があり、入力ケーブルが差し込まれているだけで、AUX INPUTオーディオソースが再生中ではない場合や接続されていない場合でも、選択した入力A/Bソースよりも自動的に優先されます。 リアパネルでコンタクトクローザーをMUTEコネクタに接続している場合、スイッチをチェックしてミュート機能がトリガーされていないことを確認します。 リアパネルのPAGE INPUTコネクタに音源を接続している場合、トリガーされていないことを確認します。 スピーカーが正しく接続されていることを確認します。 スピーカータップが正しく設定されていることを確認します。“Loudspeaker Usage” on page 23を参照してください。 アンプに十分な通気が確保されていることを確認します。不適切な通気ではアンプが保護モードになり、音が聴こえないおそれがあります。 出力が正しく配線されていることを確認します。出力が短絡すると、アンプが保護モードになり、音が聴こえないおそれがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っているのに音量が小さい 	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ入力ソースの出力が公称レベルまで大きくなっていることを確認します。 ソースとアンプを繋いでいるケーブルの接続を確認します。 アンプのGAINコントロールでソースの入力レベルを上げます。フロントパネルのINPUT SIGNAL CLIPの赤色LEDが表示されるようになるまで、GAINノブを時計回りに回します。次に、LEDが緑色に変わるまでGAINを反時計回りに回します。 アンプのOUTPUT TRIMコントロールを下げすぎでないことを確認します。 リアパネルでボリュームコントローラーをREMOTEコネクタに接続している場合、ボリュームコントローラーで音量調節が大きくなっていることを確認します(ボリュームコントローラーでの設定はフロントパネルのMASTER LEVELコントロールよりも優先されます)。 スピーカータップが正しく設定されていることを確認します。“Loudspeaker Usage” on page 23を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> 音声が歪む 	<ul style="list-style-type: none"> フロントパネルのINPUT SIGNAL CLIPのLEDが赤色ではないことを確認してください。赤色の場合、ソースの出力レベルを下げるか、入力ゲインを下げます。 入力ソース信号に問題が無い場合、スピーカーの過負荷や損傷を確認します。スピーカータップの設定を確認します。
<ul style="list-style-type: none"> 異常な音がる 	<ul style="list-style-type: none"> 使用中のスピーカーで正しいEQプリセットが選択されていることを確認します。IZA 2120-HZの場合、FreeSpace®スピーカー以外のスピーカーおよび専用のEQ設定が別途用意されているスピーカーにはHPF設定を使用します。 フロントパネルでTREBLEおよびBASSコントロールを確認します。

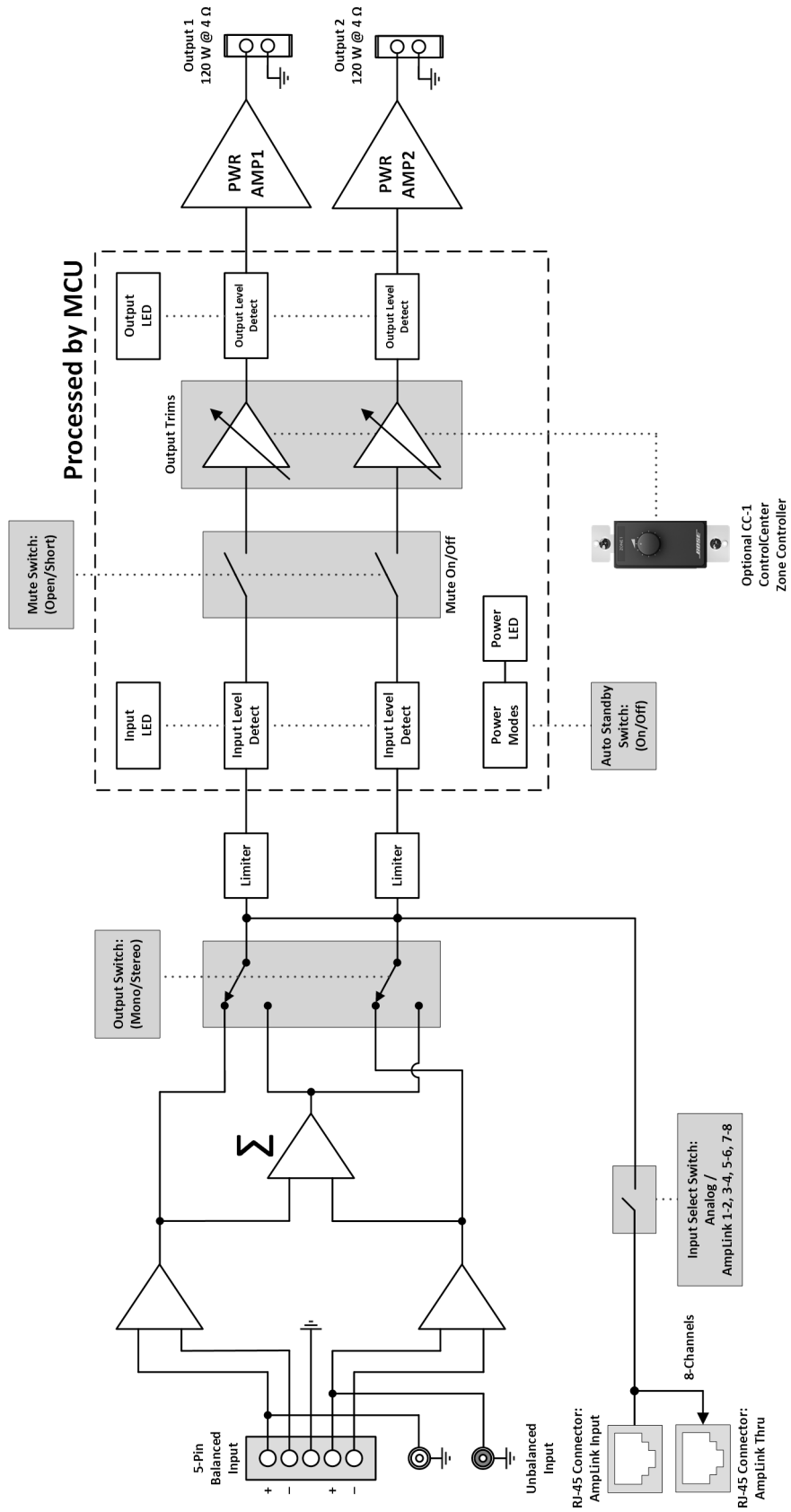


IZA 2120-LZ一体型ゾーンアンプ

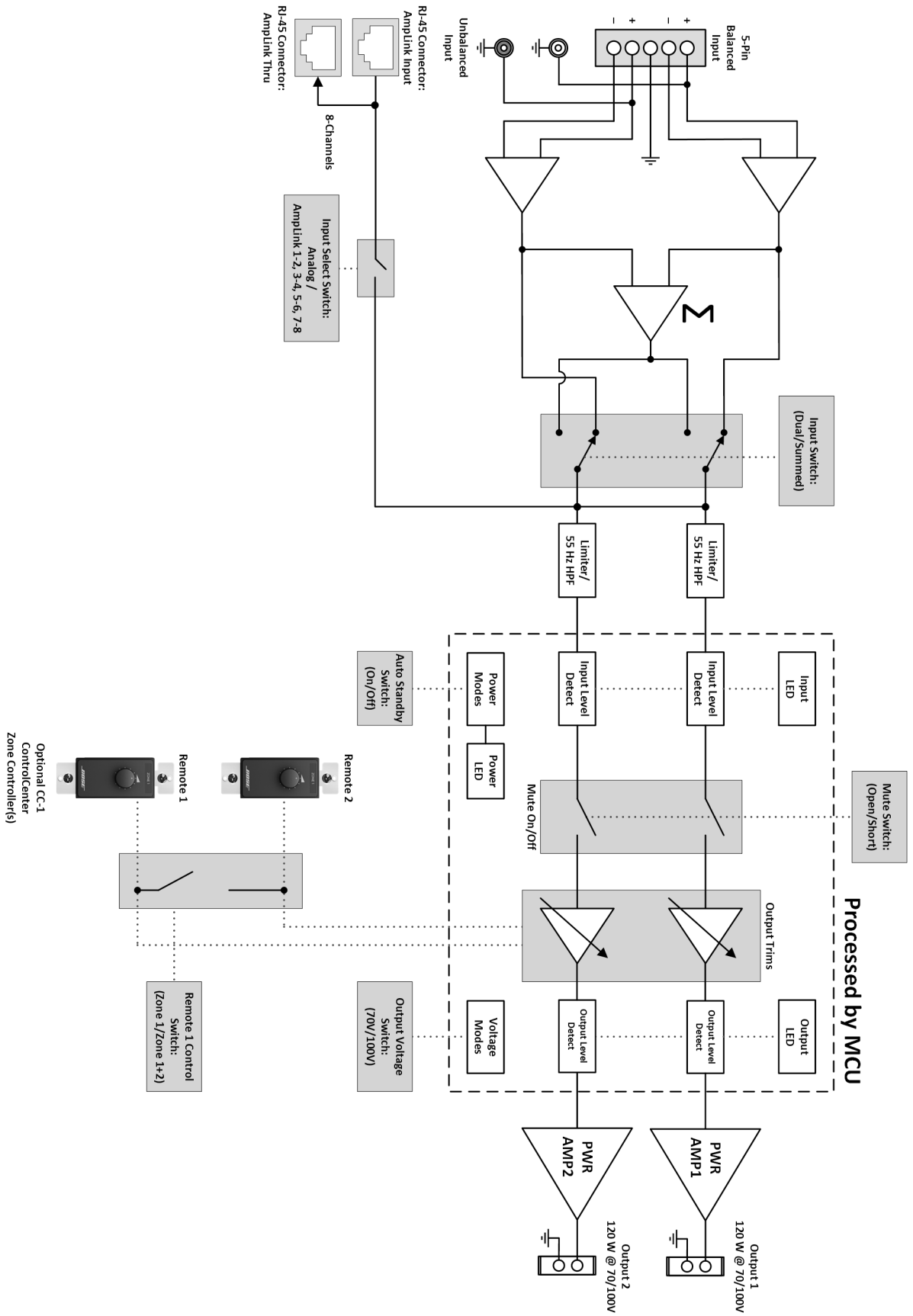
ブロック図



IZA 2120-HZ一体系型ゾーンアンテナ



ZA 2120-LZAゾーンアンプ



ZA 2120-HZAZアンプ

連絡先情報

次のウェブサイトアクセスしてください。pro.Bose.com

南北アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)
Bose Corporation
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center: 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support: 800-994-2673

オーストラリア

Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー

Bose N.V./ S.A
Limesweg 2, 03700
Tongeren, Belgium
012-390800

中国

Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd
25F, L'Avenue
99 Xianxia Road
Shanghai, P.R.C.200051 China
86 21 6010 3800

フランス

Bose S.A.S
26-28 avenue de Winchester
78100 St. Germain en Laye, France
01-30-61-63-63

ドイツ

Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

香港

Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド

Bose Corporation India Private Limited
Salcon Aurum, 3rd Floor
Plot No. 4, Jasola District Centre
New Delhi - 110025, India
91 11 43080200

イタリア

Bose SpA
Centro Leoni A - Via G. Spadolini
5 20122 Milano, Italy
39-02-36704500

日本

ボーズ合同会社
〒106-0032
東京都港区六本木 1-4-5
アークヒルズサウスタワー 13F
TEL 0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ

Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE
Edam, Nederland
0299-390139

英国

Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park
KENT ME8 0NJ
Gillingham, England
0870-741-4500

その他の国については、Webサイトをご覧ください

輸入者情報

EU

Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

中国

Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China
(Shanghai) Pilot Free Trade Zone

台湾

Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
Tel: 886 2 2514 7977

メキシコ

Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México,
D.F.
電話: 001 800 900 2673



747973-0010

©2017 Bose Corporation, All rights reserved.
Framingham, MA 01701-9168 USA
www.pro.Bose.com
すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。
AM747973 Rev. 03
OM-1561-D
17 • 12(S)

